

# ならしの消防

## 消防年報

(令和3年版)



「令和4年奈良市消防出初式」

奈良市消防局

(令和4年刊行)

# はじめに



消防局長 東川 洋志

奈良市消防局は、消防行政の実態を紹介するために昭和56年から毎年消防年報を刊行しております。

創刊以来、日々社会経済情勢は変化しており、本市の消防行政もそれに対応すべくソフト、ハード両面にわたって刷新しつづけています。

この年報では、新しく変わりつつある奈良市消防の現在のすがたをわかりやすく紹介するため業務内容、火災・救急統計等を系統別に収録し分析しています。

なお、この年報において、何年中とあるのは暦年間（1月1日から12月31日）、何年度とあるのは会計年度（4月1日から3月31日）をいい、原則として、予算関係は会計年度、それ以外のものについては、令和4年4月1日現在の現況及び暦年で取りまとめました。

今後における消防行政推進の資料として活用いただければ幸いです。

奈良市消防局

# 目次

<b>消防情勢</b>	<b>1</b>
1 奈良市の概要	2
2 奈良市消防の沿革	4
3 消防機関配置図	10
(1) 局、署所配置図	10
(2) 消防施設	11
<b>総務関係</b>	<b>13</b>
4 奈良市消防局の組織	14
5 事務分掌	15
6 消防予算	19
(1) 一般会計予算額と消防費との比較	19
(2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移	19
(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較(当初予算)	20
(4) 消防費に対する人口・世帯当たりの額	20
(5) 消防費性質別予算額	20
7 職員の階級別配置状況	21
8 職員の階級別勤続年数調べ	22
9 職員の階級別年令調べ	23
10 職員の研修状況	24
11 奈良市消防音楽隊の概要	25
(1) 音楽隊員の配置状況	25
(2) 音楽隊の編成状況	25
(3) 音楽隊の活動状況	27
<b>防災センター関係</b>	<b>28</b>
12 奈良市防災センター	29
(1) 防災センター	29
(2) 概要	29
(3) 入館状況	30
(4) 施設利用状況	30
<b>警防関係</b>	<b>31</b>
13 警防概要	32
14 警防概況	33
15 署別警防出動状況	34
16 月別警防出動状況	35
17 消防車両等の配備状況	36
18 消防水利状況	37

(1) 消火栓	37
(2) 防火水槽	37
(3) その他の水利	37

## 通信関係 38

19 通信施設	39
(1) 基地局	39
(2) 無線電話の現状	40
(3) 有線電話	41
(4) 119番着信件数	42
(5) 119番通報種別割合	43
(6) テレフォンガイド利用数	43
(7) 月別気象状況(消防局)	44
(8) 月別気象状況(東消防署)	45

## 救急関係 46

20 救急概要	47
21 救急資器材	48
22 救急概況(前年との比較)	49
23 署別救急出場状況	50
24 署別救急出場件数	51
25 月別救急出場状況	52
26 時間別救急出場状況	53
27 傷病程度別搬送人員	54
28 救急隊員の行った応急処置回数	55
29 救急救命士による特定行為実施状況	56
30 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調	56
31 過去5ヵ年の事故別救急出場状況	57

## 救助関係 58

32 救助概要	59
33 高度救助用資機材	60
34 救助資機材	61
35 救助概況(前年との比較)	62
36 署別救助出動状況	63
37 月別救助出動状況	64
38 発生場所別救助出動状況	65

## 予防関係 66

39 防火対象物一覧	67
40 用途別中高層建築物状況	69
41 消防同意処理状況	71

42	過去5ヵ年の建築同意処理件数状況	71
43	消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況	72
44	類別、数量別危険物施設数	74
45	危険物施設数及び各種許認可処理状況	75
46	奈良市所在の指定文化財等	76
47	火災予防広報等活動状況	77
48	女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状	78
	(1) 女性防災クラブ	78
	(2) 幼年消防クラブ	79
	(3) 奈良市ジュニア防災クラブ	79

## 火災統計 80

---

49	火災概要	80
50	火災概況(前年との比較)	81
51	署別火災概況	82
52	過去5ヵ年の火災状況	83
53	校区別火災状況	84
54	気象別火災状況	85
	(1) 風速別	85
	(2) 湿度別	85
55	覚知方法別火災状況	85
56	曜日別火災状況	85
57	覚知時間別火災状況	86
58	月別火災状況	87
59	用途別・原因別火災状況	88

## 消防団関係 89

---

60	奈良市消防団の組織	90
61	消防団員の階級別定員数	92
62	消防団員の新任状況	93
63	消防団員の退職状況	93
64	在職年数別消防団員数	94
65	消防団員の職業状況	94
66	消防団員の表彰状況	95
67	消防団員の出動状況	95
68	消防団機械器具等配備状況	96
69	消防団員の報酬、費用弁償	97

※ グラフ中の数値が「0」の場合(合計欄の「0」は表記あり)は空白としています

# 消 防 情 勢



「令和 4 年度消防団辞令交付式」

# 1 奈良市の概要

奈良市は、大和青垣国定公園、奈良公園、矢田自然公園など美しい自然のなかに位置し、特に特別天然記念物に指定されている春日山原始林をはじめとする緑の環境に恵まれています。

明治31年2月市制施行当初、市域面積23,44K m<sup>2</sup>、人口3万人足らずでしたが、大正12年4月添上郡佐保村の編入をはじめとし、6回にわたり町村が編入されました。また、平成の合併では平成17年4月1日に月ヶ瀬村と都祁村が編入し新しい奈良市がスタートしました。

現在、市域面積は276,94k m<sup>2</sup>に拡大され、人口も36万人近くになります。

その間、昭和25年には国際文化観光都市を宣言し、昭和41年には正倉院周辺春日奥山に古都保存法が適用され、歴史都市として個性ある街づくりをしています。

千三百年近くを生きる木造建築物など、奈良のまちには、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめ、数多くの歴史的遺産があります。これらは、先人たちが学術・芸術・技術の粋を集めて創り上げ、平城京で花開いた人類共有の貴重な宝です。

こうした美しく豊かな自然と、今日まで先人たちが守り伝えてくれた文化財の防火をはじめ、多様化した市民のニーズに十分応えうる都市基盤や社会資本の充実、そして災害に強いまちづくりの建設、またそれにふさわしい行政の施策展開のための体制づくりが急務となっており、いにしえに学んだ知恵を活かしながら、国際都市として、また近畿圏における中枢都市としてさらなる発展を続けています。

## 人口・世帯数の推移

年 別 (年)	面積 (K m <sup>2</sup> )	世帯数	1世帯当 たり平均 世帯人員	人 口			人口密度 (km <sup>2</sup> あたり)	摘 要
				男	女	計		
大正9	23.44	8,737	4.61	20,270	20,031	40,301	1,719	国勢調査10月1日
14	29.92	10,369	4.71	25,033	23,846	48,879	1,634	"
昭和5	29.92	11,336	4.66	26,195	26,589	52,784	1,764	"
10	29.92	11,840	4.73	27,594	28,374	55,968	1,871	"
15	29.80	12,332	4.64	27,477	29,796	57,273	1,922	"
20	39.52	16,430	4.25	31,417	38,398	69,815	1,767	人口調査11月1日
22	39.52	17,708	4.65	42,512	39,887	82,399	2,085	臨時国勢調査10月1日
25	39.52	17,487	4.45	38,097	39,769	77,866	1,970	国勢調査10月1日
30	121.22	25,552	4.53	55,322	60,352	115,674	954	"
35	210.33	31,026	4.34	65,548	69,029	134,577	640	"
40	211.91	40,738	3.94	77,865	82,776	160,641	758	"
45	211.91	57,111	3.65	100,561	107,705	208,266	983	"
50	211.91	73,651	3.50	124,773	132,765	257,538	1,215	"
55	211.91	90,821	3.28	144,250	153,703	297,953	1,406	"
60	211.91	100,798	3.25	157,989	169,713	327,702	1,546	"
平成2	211.61	112,990	3.09	167,310	182,039	349,349	1,651	"
7	211.60	123,718	2.90	171,926	187,292	359,218	1,698	"
12	211.60	133,774	2.74	173,652	192,533	366,185	1,731	"
16	211.60	143,052	2.56	174,539	191,756	366,295	1,731	4月1日 現 在
17	276.84	140,462	2.63	174,469	195,633	370,102	1,336	"
18	276.84	147,888	2.51	176,769	195,141	371,910	1,343	"
19	276.84	149,230	2.49	176,021	194,831	370,852	1,340	"
20	276.84	150,626	2.45	175,194	194,514	369,708	1,335	"
21	276.84	151,965	2.43	174,334	194,258	368,592	1,331	"
22	276.84	153,361	2.40	173,981	194,116	368,097	1,330	"
23	276.84	154,902	2.37	173,632	194,085	367,717	1,328	"
24	276.84	155,968	2.35	172,881	193,548	366,429	1,324	"
25	276.84	156,045	2.34	172,026	192,810	364,836	1,318	"
26	276.84	157,276	2.32	171,773	192,553	364,326	1,316	"
27	276.94	158,268	2.29	170,927	192,124	363,051	1,311	"
28	276.94	159,297	2.27	170,012	191,411	361,423	1,305	"
29	276.94	160,242	2.24	169,045	190,621	359,666	1,299	"
30	276.94	161,392	2.22	168,225	189,930	358,155	1,293	"

年 別 (年)	面積 (K ㎡)	世帯数	1世帯当 たり平均 世帯人員	人 口			人口密度 (km <sup>2</sup> あたり)	摘 要
				男	女	計		
31/令和1	276.94	162,380	2.19	167,210	189,142	356,352	1,287	4月1日 現 在
令和2	276.94	163,991	2.17	166,714	188,815	355,529	1,284	〃
令和3	276.94	165,360	2.14	166,035	188,252	354,287	1,279	〃
令和4	276.94	165,784	2.13	165,318	187,840	353,158	1,275	〃

注) 平成 26 年 10 月 1 日 国土地理院より市域面積の新数値が公表される。



「奈良県庁屋上より大仏殿、若草山を望む」



## 2 奈良市消防の沿革（平成元年以降、明治～昭和については奈良市消防沿革史にて保管）

平成	元年	4月	第六代消防長に森井堯運氏就任 警防課に特別消防救助隊を設置
		8月	法蓮町926番地の4に東消防署佐保出張所を移転
		11月	秋の火災予防運動初日（11月9日）に三条通りを初の防火パレード実施
		12月	防災指導車購入
2年	4月		消防職員定数 260名
		9月	中消防署西大寺出張所改築工事のため、二条町二丁目80番地の3に仮出張所を設置 第1回救急展を奈良そごうにおいて実施
3年	3月		50m級梯子車購入
		4月	消防職員定数 270名
		7月	患者等搬送事業乗務員講習会実施
4年	1月		中消防署西大寺出張所改築完成
		4月	消防職員定数 288名 右京二丁目1番地の1に中消防署北出張所新設、同所に35m級梯子車配備 東消防署佐保出張所に救急車配備
		5月	第1回救急救命士国家試験合格 1名
		6月	学園前保育園幼年消防クラブ発足 50名
		11月	第2回救急救命士国家試験合格 1名
5年	3月		日本損害保険協会より救急普及啓発広報車の寄贈
		4月	消防職員定数 302名 高規格救急車（1台）購入 救急救命士の業務開始
		6月	みずほ保育園幼年消防クラブ発足 30名
		10月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（CD-1）の寄贈
6年	4月		消防職員定数 317名 応急手当普及啓発活動の開始 第5回救急救命士国家試験合格 1名
7年	1月		阪神大震災が発生し応援要請を受け職員を派遣
		4月	第七代消防長に古田育宏氏就任 第7回救急救命士国家試験合格 1名 消防職員定数 344名
		7月	財団法人奈良市防災センター設立 初代理事長に森井堯運氏就任
		8月	奈良市防災センター（消防本部同一敷地内）運用開始
8年	3月		通信指令室を奈良市防災センター3階に移転し奈良市消防通信指令総合システム運用開始 災害対応特殊救急車（1台購入） 東消防署に配備 警防課に後方支援車を配備
		4月	第八代消防長に林茂樹氏就任 大柳生町1232番地に東消防署東部出張所新設 6出張所の所長に消防司令を配置 通信指令室に管理係を設置 第9回救急救命士国家試験合格 2名 消防職員定数 344名
		5月	県下の消防本部を設置している市町村相互間において、奈良県消防広域相互応援協定締結
9年	2月		特別表彰「まとい」受章
		4月	消防職員定数 354名 消防署の主幹を廃止し、副署長を置く。
		4月	第11回救急救命士国家試験合格 1名 東大阪市、生駒市及び奈良市は、第二阪奈有料道路における消防相互応援協定を締結

	5月	情報収集用二輪車（オフロードバイク）3台購入
10年	2月	市政100周年を迎える。
	3月	ならまち消防ポンプ収納庫設置（飛鳥小学校）
	4月	消防長事務取扱に桐木弘助役就任 奈良市消防本部を奈良市消防局に名称変更 中消防署北出張所を北消防署に昇格 警防課特別消防救助隊を救急救助課に改組 通信指令室を指令課に名称変更 文化財防災官1名（消防司令長）を設置 第13回救急救命士国家試験合格 1名 奈良県防災ヘリコプター導入に伴い隊長（司令長級）1名派遣
	7月	第四代消防団長に辰巳道憲氏就任
10月		愛の園保育園幼年消防クラブ発足 10名 中登美保育園幼年消防クラブ発足 37名
	11月	第14回救急救命士国家試験合格 1名
	12月	「古都奈良の文化財」8資産群がユネスコの世界遺産に登録
11年	3月	第九代消防長に松田久雄氏就任 西消防署に高規格救急車を配備 防災ヘリコプター運用に伴い、奈良県（防災航空隊）と奈良県防災ヘリコプター応援協定を締結
	4月	消防局に理事を置く。 指令課を三部制にし、指令第三係を新設 世界遺産登録社寺（6社寺）に小型動力ポンプを配備 6台 第15回救急救命士国家試験合格 3名
12年	4月	消防局に職員課及び職員厚生係を新設し、消防総務部（総務課、職員課）と生活安全部（警防課、救急救助課、予防課、指令課）に改組 東消防署佐保出張所を北消防署佐保出張所に変更
	5月	第17回救急救命士国家試験合格 1名
	11月	第18回救急救命士国家試験合格 1名
13年	4月	4出張所（南部、東部、西大寺、佐保）を分署に名称変更し南部分署に救急隊を配置 東・中消防署に特別救助隊各1隊配置 国際消防救助隊に隊員8名が登録 第4回全国消防音楽隊フェスティバル参加（神戸市）
	5月	第19回救急救命士国家試験合格 1名
	11月	高所救助放水車購入
14年	4月	奈良市が中核市に移行 第21回救急救命士国家試験合格 2名
	11月	消防音楽隊が発足15周年記念「市民ふれあいコンサート」を開催
15年	4月	第十代消防長に佐賀勝彦氏就任 第23回救急救命士国家試験合格 2名 計19名
15年	5月	第24回救急救命士国家試験合格 1名 計20名
16年	4月	第25回救急救命士国家試験合格 1名 計21名
	7月	平成16年7月福井豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊として奈良市消防局から11名が福井県福井市及び足羽郡美山町（現福井市美山町）へ出動
	10月	第26回救急救命士国家試験合格 1名 計22名 第5回全国消防音楽隊フェスティバル参加（浜松市）
	12月	消防職員定数394人
17年	2月	東消防署に高規格救急車を配備
	3月	西消防署に30m級梯子付消防自動車を配備
	4月	奈良市・都祁村・月ヶ瀬村が合併 東消防署を中央消防署に、中消防署を南消防署に変更

山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ都祁消防署を東消防署に、山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ月ヶ瀬分遣所を東消防署月ヶ瀬分署として運用開始  
北消防署佐保分署を中央消防署佐保分署に、中消防署西大寺分署を南消防署西大寺分署に変更（消防体制：5消防署5分署1出張所）

第五代消防団長に窪田康男氏就任

第27回救急救命士国家試験合格 1名 計23名

18年 8月 奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、中央消防署に配備

3月 高規格救急車（1台）購入 中央消防署に配備  
奈良市消防通信指令システムが更新され運用開始

4月 中央消防署新庁舎（奈良市西木辻町）が完成し運用開始  
専任女性救急隊員2名（隔日勤務）を中央消防署に配置

第28回救急救命士国家試験合格 2名 計25名

5月 第29回救急救命士国家試験合格 3名 計28名

6月 奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、警防課に配備

19年 4月 第十一代消防長に猪岡秀夫氏就任  
第六代消防団長に黒文雄氏就任  
専任女性救急隊員1名（隔日勤務）を南消防署に配置

5月 第30回救急救命士国家試験合格 3名 計31名

20年 4月 消防職員定数394人  
部制（消防総務部、生活安全部）を廃止し災害対策室を設置する。  
局及び署を担当する次長を置く。  
職員課を廃止  
総務課においてグループ制を導入  
警防課を消防課に名称変更し、消防係と防災係を統合し消防防災係に、機械係を施設係に変更  
予防課において予防係と査察係を統合し予防査察係に、建築係と危険物係を統合し指導係に変更  
消防署において警防係を消防救急係に、救急救助係を救助係に、分署において警防救急係を消防救急係に、出張所において警防係を消防係に変更  
総務省消防庁へ職員1名派遣  
奈良市消防音楽隊に副隊長を置く。

21年 5月 第31回救急救命士国家試験合格 3名 計34名

3月 消防音楽隊に演奏活動用新型バスが配備

4月 消防職員定数394人  
救急救助課を救急課に名称変更し、救急係及び救助係を廃止し、救急管理係、救急指導係を置く。消防課に救助係を置く。  
中央消防署及び西消防署に3部制の救急隊を置く。  
奈良市消防団に初の女性消防分団（広報指導分団39名）が発足

22年 5月 第32回救急救命士国家試験合格 3名 計37名

7月 奈良県遊技業協同組合より救急車（1台）寄贈され、西大寺分署に配備

2月 東消防署月ヶ瀬分署にCDI型消防ポンプ自動車を配備

3月 南消防署に救助工作車Ⅲ型を配備

4月 第十二代消防長に野口隆身氏就任  
消防職員定数412人  
消防局に救急業務及び指令管制業務を統括する情報救急室を新設し、情報救急室（救急課、指令課）と災害対策室（消防課、予防課）に改組  
消防局全課にグループ制（担当制）を導入  
次長（消防局、消防署担当）を廃止し、副局長、消防危機統制監を置く。  
総務省消防庁へ職員1名派遣  
消防課に指揮救助隊を置く。  
南消防署に高度救助隊を配置  
西消防署富雄出張所を西消防署富雄分署に変更し救急隊を配置

- 中央消防署及び西消防署の救急隊を２部制に変更  
西消防署富雄分署に高規格救急車を配備
- 5月 第33回救急救命士国家試験合格 4名 計41名
- 6月 中央消防署に災害対応特殊救急車を配備
- 7月 第16回全国女性消防団員活性化奈良大会を開催
- 10月 第6回全国消防音楽隊フェスティバルを開催（全国より21隊出演）  
市立奈良病院にドクターカーを配備し運用を開始（週3日）
- 11月 第22回全国消防操法大会（愛知県蒲郡市）に奈良市消防団柳生分団が出場
- 23年 2月 東消防署東部分署にCDI型消防ポンプ自動車を配備  
東消防署に救助工作車I型を配備
- 3月 消防団LIVE2011in奈良を開催  
東北地方太平洋沖地震が発生し、緊急消防援助隊奈良県隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から62名が宮城県亘理郡山元町へ出動
- 4月 消防職員定数412人  
消防課指揮救助隊のかいに指揮支援隊を置く。  
消防署組織の係制を廃止し、担当及び小隊制を導入するとともに、複数小隊を管理する中隊長を置く。  
東消防署に高規格救急車を配備  
日本消防協会へ職員1名派遣  
ドクターカーの運用を週3日から週4日に変更
- 5月 全国共済農業協同組合連合会奈良県本部より高規格救急車（1台）寄贈され西消防署に配備  
第34回救急救命士国家試験合格 3名 計44名
- 24年 4月 第十三代消防長に徳岡泰博氏就任  
消防職員定数412人  
（財）奈良市防災センターが解散し、総務課のかいに防災センターを置く  
ドクターカーの運用を週4日から週5日に変更  
総務省消防庁へ職員1名派遣  
第35回救急救命士国家試験合格 3名 計46名
- 5月 消防課に指揮支援車を配備
- 9月 総務省消防庁より燃料補給車配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
- 11月 奈良市消防局、相楽中部消防組合消防本部で初の「合同消防フェア」を開催
- 25年 3月 第1回奈良市消防団活性化大会を開催し県下で初めて消防団協力事業所を認定  
総務省消防庁より支援車I型配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
- 4月 消防職員定数412人  
第七代消防団長に川寄政信氏就任  
第36回救急救命士国家試験合格 3名 計49名  
総務省消防庁より可搬型衛星基地局配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
- 9月 西消防署新庁舎が完成（鶴舞西町）し運用開始
- 11月 消防団120周年・自治体消防65周年記念奈良県消防大会
- 12月 日本消防協会より防災活動車配備
- 26年 3月 総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車及び資機材保管備蓄倉庫一式配備  
第2回奈良市消防団活性化大会を開催  
南消防署に20m級屈折はしご付消防車を配備
- 4月 第十四代消防長に酒井孝師氏就任  
消防職員定数412人  
ドクターカーの運用を週5日から週6日に変更  
第37回救急救命士国家試験合格 3名 計58名（新規採用者含む）  
総務省消防庁へ職員1名派遣
- 5月 救急隊による搬送先病院、直接交渉開始
- 8月 「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」に参加
- 10月 女性防災クラブ30周年記念式典をならまちセンターで開催

27年	2月	第3回奈良市消防団活性化大会「消防団とDMAT・DPAT合同訓練」を実施	
	4月	消防職員定数412人 第38回救急救命士国家試験合格 4名 計62名(新規採用者含む)	
	12月	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入し中央消防署に配備	
28年	2月	第4回奈良市消防団活性化大会「消防団とDMAT・DPAT合同訓練」を実施	
	3月	西消防署に救助工作車Ⅱ型を配備	
	4月	消防職員定数412人(実員数385人) 消防局組織改編を実施し当直勤務者のシフトを2部制から3部制に変更 奈良市生駒市消防指令センター共同運用開始 総務省消防庁へ職員1名派遣 第39回救急救命士国家試験合格 5名 計65名	
	10月	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を奈良県で開催	
	12月	消防本部における女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的広報として「ワンデイインターンシップ京都会場」にブース初出展	
29年	2月	第5回奈良市消防団活性化大会「奈良市消防団を中核とした地域防災力強化訓練」を開催 南消防署に高規格救急車を配備	
	3月	消防庁長官竿頭授受賞 第7回全国消防音楽隊フェスティバル参加(豊中市)	
	4月	第十五代消防長に藤村正弘氏就任 消防職員定数412人(実員数378人) 第40回救急救命士国家試験合格 3名 計70名(新規採用者含む)	
	11月	西消防署富雄分署に高規格救急車を配備	
30年	2月	第6回奈良市消防団活性化大会「～守ろう我が町、我が地域～」を開催 中央消防署南部分署にCDI型消防ポンプ自動車を配備	
	4月	消防職員定数412人(実員数374人) 総務省消防庁へ職員1名派遣 第41回救急救命士国家試験合格 3名 計74名(新規採用者含む) 月ヶ瀬分署に救急救命士を配置し5署6分署すべてに救急救命士を配置	
	7月	平成30年7月豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊(第三次隊まで派遣)として奈良市消防局から60名が岡山県倉敷市真備町へ出動	
	11月	全国初の取組みとして「市民メディカルラリー」2018を第7回奈良市消防団活性化大会と併せてイオンモール高の原にて開催	
31年	1月	中央消防署に高規格救急車を配備	
	2月	中央消防署佐保分署にCDI型消防ポンプ自動車を配備	
	3月	西消防署にI-B型水槽付き消防ポンプ自動車を配備	
	4月	第十六代消防長に西岡光治氏就任 消防職員定数412人(実員数375人) 第八代消防団長に中室貞浩氏就任 第42回救急救命士国家試験合格 3名 計82名(新規採用者含む)	
令和	元年	7月	相楽中部消防組合とはしご付消防自動車の共同運用連携協約を締結
		11月	奈良市ジュニア防災クラブ結成
	2年	2月	西消防署に災害対応特殊救急自動車を配備 第8回奈良市消防団活性化大会「令和元年度消防団長会北和ブロック訓練」を布目ダムにて開催
		3月	中央消防署南部分署に高規格救急自動車を配備
		4月	消防職員定数412人(実員数384人) 総務省消防庁へ職員1名派遣 第43回救急救命士国家試験合格 3名 計83名(新規採用者含む)
		11月	相楽中部消防組合とはしご付消防自動車の共同運用開始
	3年	3月	総務省消防庁より中型水陸両用車及び搬送車配備(緊急消防援助隊活動用車両として無償使用) 中央消防署佐保分署に高規格救急車を配備

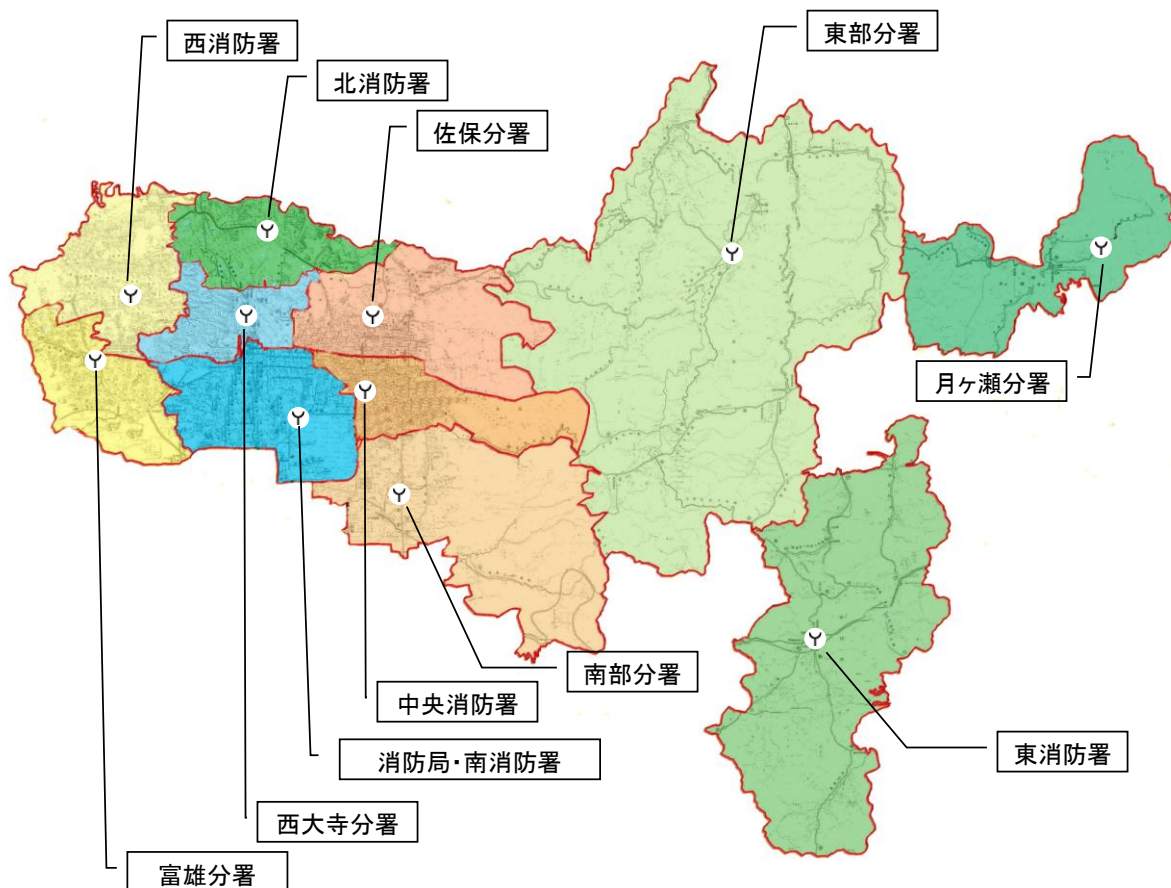
- 4月 西岡光治消防長退任され第十七代消防長に東川洋志氏就任  
消防職員定数412人（実員数388人）  
第44回救急救命士国家試験合格 2名 計84名（新規採用者含む）
- 6月 仮想体験付起震コンテナ（愛称「Bousai キャラバン号」）運用開始
- 12月 南消防署西大寺分署に高規格救急車を配備
- 4年 3月 南消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配備
- 4月 消防職員定数412人（実員数393人）  
文部科学省文化庁へ職員1名派遣  
総務省消防庁へ職員1名派遣  
第45回救急救命士国家試験合格 3名 計90名（新規採用者含む）



「令和4年奈良市消防出初式」

### 3 消防機関配置図

#### (1) 局、署所配置図



### 市 勢

面 積	276.94 km <sup>2</sup>		東西 33.51 km	南北 22.22 km
	東 經		135°48′	
	北 緯		34°41′	
人 口	令和4年		令和3年	前年との比較
	男	165,318人	166,035人	△717
	女	187,840人	188,252人	△412
	計	353,158人	354,287人	△1,129
世 帯 数	165,784		165,360	424

(人口・世帯数は各年4月1日現在)

(2) 消防施設



消防局・南消防署併設庁舎



南消防署西大寺分署



中央消防署



中央消防署南部分署



西消防署



中央消防署佐保分署



北消防署



西消防署富雄分署



東消防署



東消防署東部分署



防災センター



東消防署月ヶ瀬分署



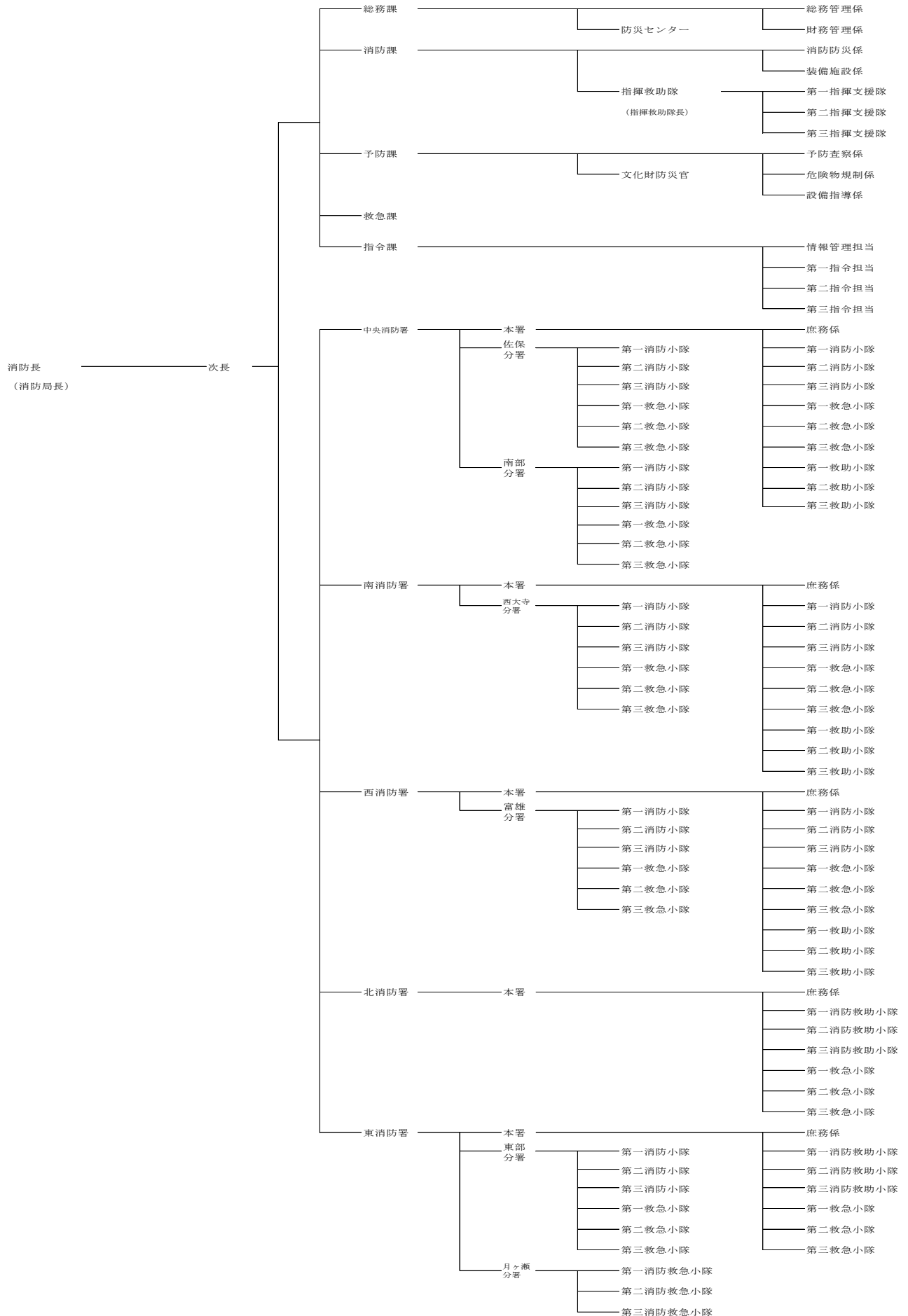
施設名	所在地	構造	敷地面積 (㎡)	建物延べ面積 (㎡)	竣工年月日
消防局・南消防署	八条五丁目 404 番地の 1 0742(35)1191(代表)	RC造 5階建	6,622.12	2,431.65	昭和58年10月
南消防署西大寺分署	二条町二丁目1番1号 0742(33)4605	RC造 3階建	454.80	564.33	平成4年1月
中央消防署	西木辻町 43 番地の 1 0742(22)7051	RC造 3階建	1,333.05	1,405.20	平成18年3月
中央消防署佐保分署	法蓮町 926 番地の 4 0742(22)7055	RC造 2階建	1,471.05	399.75	平成元年8月
中央消防署南部分署	横井五丁目 497 番地の 3 0742(61)7025	RC造 2階建	1,088.93	500.40	昭和62年4月
西消防署	鶴舞西町 1 番 19 号 0742(45)7621	RC造 2階建	2,144.40	1,185.69	平成25年9月
西消防署富雄分署	三碓六丁目 10 番 40 号 0742(47)7119	RC造 2階建	1,234.99	500.40	昭和60年12月
北消防署	右京二丁目 1 番地の 1 0742(71)9119	RC造 2階建	4,218.19	1,008.87	平成4年3月
東消防署	針町 647 番地の 1 0743(82)0513	RC造 2階建	1,469.95	587.05	昭和53年5月
東消防署東部分署	大柳生町 1232 番地 0742(93)0119	RC造 2階建	1,019.66	492.36	平成8年3月
東消防署月ヶ瀬分署	月ヶ瀬尾山 3395 番地の 2 0743(92)0945	RC造 2階建	559.00	249.09	昭和57年4月
防災センター	八条五丁目 404 番地の 1 0742(35)1106	SRC造 4階建	消防局 同一敷地	3,021.37	平成7年6月

# 総務関係



「令和4年度消防職員初任教育初任救急総合科入校式」

## 4 奈良市消防局の組織



## 5 事務分掌

消 防 局	総務課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公印の管守に関する事。</li> <li>2. 文書の収発及び保存整理に関する事。</li> <li>3. 消防長会に関する事。</li> <li>4. 消防団に関する事。</li> <li>5. 局の総合企画及び基本施策に関する事。</li> <li>6. 消防関係条例、規則、規程等の審査及び制定改廃手続に関する事。</li> <li>7. 消防統計に関する事。</li> <li>8. 業務改善及び事務能率の増進に関する事。</li> <li>9. 消防音楽隊に関する事。</li> <li>10. 消防広報に関する事。</li> <li>11. 市民の要望及び相談の処理に係る事務の統轄に関する事。</li> <li>12. 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関する事。</li> <li>13. 職員の配置及び勤務に関する事。</li> <li>14. 職員の給与、その他の給付の規定、裁定及び支給に関する事。</li> <li>15. 表彰に関する事。</li> <li>16. 研修及び研修計画に関する事。</li> <li>17. 職員の公務災害補償に関する事。</li> <li>18. 公務による交通事故の処理及び賠償に関する事（消防課の主管に属するものを除く。）。</li> <li>19. 職員の福利厚生に関する事。</li> <li>20. 職員の健康及び安全衛生管理に関する事。</li> <li>21. 職員の服務規律等に関する事。</li> <li>22. 庁中管理の統轄に関する事。</li> <li>23. 消防職員委員会に関する事。</li> <li>24. 予算の編成及び執行並びに決算事務の総括に関する事。</li> <li>25. 職員の給貸与品に関する事。</li> <li>26. 他の課の主管に属しない事。</li> <li>27. 課の庶務に関する事。</li> </ol>
	防災センター	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災センターに関する事。</li> <li>2. センターの庶務に関する事。</li> </ol>
	消防課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害の警備に関する事。</li> <li>2. 災害対策の連絡及び調整に関する事。</li> <li>3. 非常警防体制及び特別警戒体制の実施に関する事。</li> <li>4. 消防相互応援協定に関する事。</li> <li>5. 地域防災計画及び水防計画に関する事。</li> <li>6. 都市計画法（昭和43年法律第100号）に基づく開発行為に係る同意に関する事。</li> <li>7. 消防水利の開発及び保全に関する事。</li> <li>8. 水防資器材の整備保全に関する事。</li> <li>9. 防災総合訓練等に関する事。</li> <li>10. 消防車両等の配置計画に関する事。</li> <li>11. 消防機械器具の整備及び整備技術の指導に関する事。</li> <li>12. 特殊な消防機械器具の操作技術の指導に関する事。</li> <li>13. 消防車両等の燃料に関する事。</li> <li>14. 消防車両等の登録及び検査等に関する事。</li> <li>15. 車両管理の総括に関する事。</li> <li>16. 公務による交通事故の物損処理に関する事。</li> <li>17. 課の庶務に関する事。</li> </ol>
	指揮救助隊	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 救助対策及び救助活動に関する事。</li> <li>2. 救助隊の教育訓練及び救助技術に関する事。</li> <li>3. 救助機械器具の整備保全及び操作技術の指導に関する事。</li> <li>4. 救助統計に関する事。</li> <li>5. 救助の警備計画に関する事。</li> <li>6. 指揮支援隊に関する事。</li> <li>7. 緊急消防援助隊に関する事。</li> <li>8. 国際消防救助隊に関する事。</li> <li>9. 隊の庶務に関する事。</li> </ol>
	指揮支援隊	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害現場の指揮支援に関する事。</li> <li>2. 災害現場の安全管理及び現場指揮体制の調査研究に関する事。</li> <li>3. 災害現場の情報収集及び現場広報に関する事。</li> <li>4. 災害の警戒及び防除に関する事。</li> <li>5. 消防活動技術の研究に関する事。</li> <li>6. 火災防御検討会に関する事。</li> <li>7. 警防計画及び訓練に関する事。</li> </ol>

消 防 局	予 防 課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 火災予防施策の計画立案に関する事。</li> <li>2. 火災予防の対策及び広報に関する事。</li> <li>3. 防火管理者資格講習及び指導に関する事。</li> <li>4. 火災原因及び損害の調査に関する事。</li> <li>5. 火災警報の発令に関する事。</li> <li>6. 予防統計に関する事。</li> <li>7. 女性防災クラブに関する事。</li> <li>8. 住宅防火に関する事。</li> <li>9. 住宅用火災警報器の普及促進に関する事。</li> <li>10. 危険物の許可、認可及び規制に関する事。</li> <li>11. 指定可燃物その他特殊な物質の防火に関する事。</li> <li>12. 危険物取扱者等及び危険物施設の管理者の指導に関する事。</li> <li>13. 液化石油ガスその他の高圧ガスの防火指導に関する事。</li> <li>14. 危険物の災害予防対策及び調査研究に関する事。</li> <li>15. 建築物の確認、許可及び認可の同意に関する事。</li> <li>16. 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。</li> <li>17. 建築物の防火に関する事。</li> <li>18. 防火対象物の使用届出等に関する事。</li> <li>19. 防災規制の指導に関する事。</li> <li>20. 予防査察の計画、実施及び指導に関する事。</li> <li>21. 防火対象物の違反処理に関する事。</li> <li>22. 課の庶務に関する事。</li> </ol>
	救 急 課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 救急業務の基本計画に関する事。</li> <li>2. 救急隊の運用に関する事。</li> <li>3. 救急情報の収集及び救急統計に関する事。</li> <li>4. 救急医療関係機関等との連絡及び調整に関する事。</li> <li>5. 救急隊員の感染防止対策及び健康管理に関する事。</li> <li>6. 救急資機材の配置及び開発に関する事。</li> <li>7. 救急業務の需要に係る対策に関する事。</li> <li>8. 救急救命士及び救急隊の教育訓練に関する事。</li> <li>9. 救急医療及び救急技術の調査研究に関する事。</li> <li>10. 応急手当の普及啓発活動に関する事。</li> <li>11. 患者搬送事業に関する事。</li> <li>12. メディカルコントロール体制（医療機関等との連携により救急業務の質的向上を図る体制をいう。）に関する事。</li> <li>13. 救急業務の高度化推進に関する事。</li> <li>14. 救急ワークステーション設置準備に関する事。</li> <li>15. ドクターカー運用に関する事。</li> <li>16. 課の庶務に関する事。</li> </ol>
	指 令 課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電子計算機器及び入出力媒体の管理に関する事。</li> <li>2. 電子計算機器処理に係る情報の管理に関する事。</li> <li>3. 端末機の操作研修及びパスワードの管理に関する事。</li> <li>4. その他電子計算機器の運用に関する事。</li> <li>5. 水火災、救急その他の災害の受報及び出動指令に関する事。</li> <li>6. 通信施設及び器具の運用管理に関する事。</li> <li>7. 消防隊等の出動の統制的運用に関する事。</li> <li>8. 水火災、救急その他の災害の現場の通信統制に関する事。</li> <li>9. 水火災、救急その他の災害の現場の情報収集及び連絡に関する事。</li> <li>10. 職員の非常招集に関する事。</li> <li>11. 医療機関等との連絡及び協調に関する事。</li> <li>12. 通信施設の技術研究及び指導に関する事。</li> <li>13. 防災気象の通信連絡に関する事。</li> <li>14. 課の庶務に関する事。</li> </ol>

消 防 署	庶務係	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 火災予防の対策及び広報に関すること。</li> <li>2. 査察に関すること。</li> <li>3. 防火対象物の設備及び防火管理者の指導に関すること。</li> <li>4. 消防用設備等の設置の指導及び点検結果報告に関すること。</li> <li>5. 予防統計に関すること。</li> <li>6. 火災その他の災害の調査に関すること。</li> <li>7. 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>8. 署の事務の企画調整に関すること。</li> <li>9. 公務による交通事故の処理に関すること。</li> <li>10. 署の庶務に関すること。</li> <li>11. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。</li> </ol>
	消防小隊 (中央・南・西署)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 警防計画及び訓練に関すること。</li> <li>2. 火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。</li> <li>3. 消防地水利の開発、調査及び保全に関すること。</li> <li>4. 消防の機械器具の整備及び保全に関すること。</li> <li>5. 査察及びその他の防火指導に関すること。</li> <li>6. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。</li> <li>7. 自衛消防隊の訓練の指導に関すること。</li> <li>8. 消防相談に関すること。</li> <li>9. 火災その他の災害の調査に関すること。</li> <li>10. 職員の非常招集に関すること。</li> <li>11. 署所の軽微な庁中管理に関すること。</li> <li>12. 公務による交通事故の物損処理に関すること。</li> <li>13. 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。</li> </ol>
	救助小隊 (中央・南・西署)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害現場の安全管理に関すること。</li> <li>2. 救助訓練に関すること。</li> <li>3. 人命の救助及び防火に関すること。</li> <li>4. 救助の機械器具の整備保全に関すること。</li> <li>5. 救助の報告に関すること。</li> <li>6. 緊急消防援助隊の出動に関すること。</li> <li>7. 国際消防救助隊の派遣に関すること。</li> <li>8. 署所の軽微な庁中管理に関すること。</li> <li>9. 公務による交通事故の物損処理に関すること。</li> <li>10. 救助技術に関すること。</li> <li>11. 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>12. 火災その他の災害の調査に関すること。</li> <li>13. 査察及びその他の防火指導に関すること。</li> <li>14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。</li> </ol>
	消防救助小隊 (北・東消防署)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 警防計画及び訓練に関すること。</li> <li>2. 火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。</li> <li>3. 消防地水利の開発、調査及び保全に関すること。</li> <li>4. 機械器具の整備及び保全に関すること。</li> <li>5. 査察及びその他の防火指導に関すること。</li> <li>6. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。</li> <li>7. 自衛消防隊の訓練の指導に関すること。</li> <li>8. 消防相談に関すること。</li> <li>9. 火災その他の災害の調査に関すること。</li> <li>10. 職員の非常招集に関すること。</li> <li>11. 署所の軽微な庁中管理に関すること。</li> <li>12. 公務による交通事故の物損処理に関すること。</li> <li>13. 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。</li> <li>15. 災害現場の安全管理に関すること。</li> <li>16. 救助訓練に関すること。</li> <li>17. 人命の救助及び防火に関すること。</li> <li>18. 救助の報告に関すること。</li> <li>19. 緊急消防援助隊の出動に関すること。</li> <li>20. 国際消防救助隊の派遣に関すること。</li> <li>21. 救助技術に関すること。</li> </ol>
	救急小隊	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 救急の機械器具の整備及び保全に関すること。</li> <li>2. 救急対策及び救急処置に関すること。</li> <li>3. 救急の報告に関すること。</li> <li>4. 救急統計に関すること。</li> <li>5. 公務による交通事故の物損処理に関すること。</li> <li>6. 火災その他の災害の調査に関すること。</li> </ol>

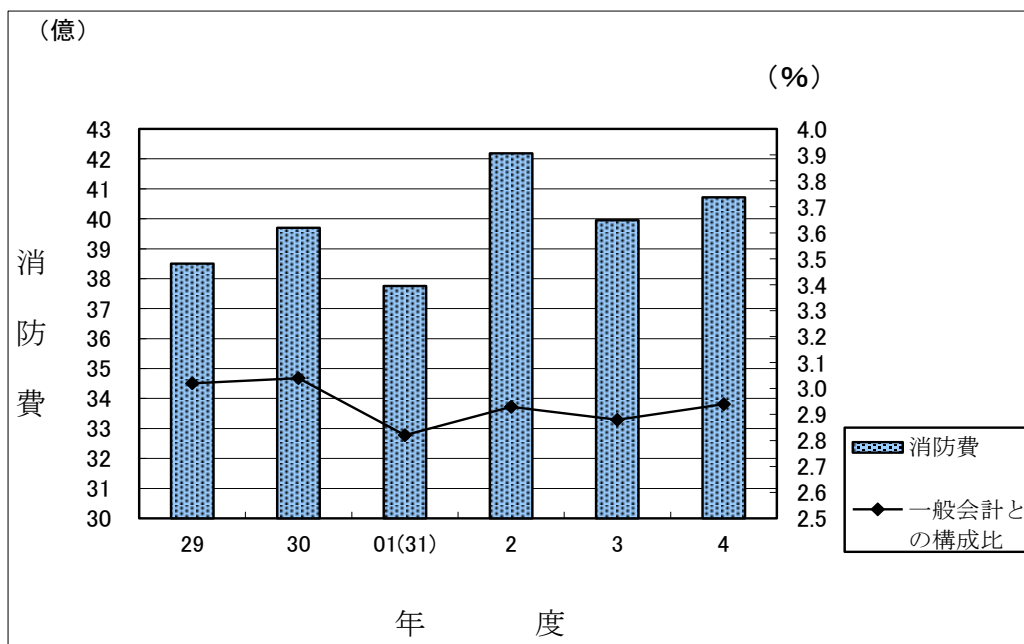
分 署	月ヶ瀬分署以外	消防小隊	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書の収発及び保管整理に関する事。</li> <li>2. 警備計画及び訓練に関する事。</li> <li>3. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。</li> <li>4. 消防水利の調査及び保全に関する事。</li> <li>5. 査察及びその他の防火指導に関する事。</li> <li>6. 消防の機械器具の整備及び保全に関する事。</li> <li>7. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。</li> <li>8. 自衛消防隊の訓練及び指導に関する事。</li> <li>9. 火災その他の災害の調査に関する事。</li> <li>10. 消防相談に関する事。</li> <li>11. 署所の軽微な庁中管理に関する事。</li> <li>12. 火災原因及び損害の調査に関する事。</li> <li>13. 公務による交通事故の物損処理に関する事。</li> <li>14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。</li> <li>15. その他管内の消防及び救急業務に関する事。</li> </ol>
		救急小隊	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書の収発及び保管整理に関する事。</li> <li>2. 救急対策及び救急処置に関する事。</li> <li>3. 救急の機械器具の整備及び保全に関する事。</li> <li>4. 火災その他の災害の調査に関する事。</li> <li>5. 消防相談に関する事。</li> <li>6. 署所の軽微な庁中管理に関する事。</li> <li>7. 公務による交通事故の物損処理に関する事。</li> <li>8. 救急統計に関する事。</li> <li>9. その他管内の救急業務に関する事。</li> </ol>
	月ヶ瀬分署	消防救急小隊	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書の収発及び保管整理に関する事。</li> <li>2. 警備計画及び訓練に関する事。</li> <li>3. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。</li> <li>4. 消防水利の調査及び保全に関する事。</li> <li>5. 査察及びその他の防火指導に関する事。</li> <li>6. 救急対策及び救急処置に関する事。</li> <li>7. 救急及び消防機械器具の整備保全に関する事。</li> <li>8. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。</li> <li>9. 自衛消防隊の訓練及び指導に関する事。</li> <li>10. 火災その他の災害の調査に関する事。</li> <li>11. 消防相談に関する事。</li> <li>12. 署所の軽微な庁中管理に関する事。</li> <li>13. 火災原因及び損害の調査に関する事。</li> <li>14. 公務による交通事故の物損処理に関する事。</li> <li>15. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。</li> <li>16. 救急統計に関する事。</li> <li>17. その他管内の消防及び救急業務に関する事。</li> </ol>

## 6 消防予算

### (1) 一般会計予算額と消防費との比較

年度	区分	一般会計 (千円)	消防費 (千円)	構成比 (%)
平成29年度		127,561,997	3,849,752	3.02
平成30年度		130,526,400	3,970,159	3.04
令和元年度		133,790,000	3,775,472	2.82
令和2年度		144,100,000	4,218,313	2.93
令和3年度		138,840,000	3,995,202	2.88
令和4年度		138,620,000	4,071,146	2.94

### (2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移





(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較（当初予算）

科目		年度	令和4年度 (千円)	令和3年度 (千円)	比較増減 (千円)
一般会計			138,620,000	138,840,000	△220,000
消防費			4,071,146	3,995,202	75,944
内訳	常備消防費		3,710,850	3,696,071	14,779
	非常備消防費		148,349	147,109	1,240
	水防費		106	106	—
	消防施設維持費		4,770	4,770	—
	消防施設費		207,071	147,146	59,925

(4) 消防費に対する人口・世帯当たり額

年度	区分	消防費 (千円)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)
平成29年度		3,849,752	359,666	160,242	10,704	24,025
平成30年度		3,970,159	358,155	161,392	11,085	24,599
令和元年度		3,775,472	356,352	162,380	10,595	23,251
令和2年度		4,218,313	355,529	163,991	11,865	25,723
令和3年度		3,995,202	354,287	165,360	11,277	24,161
令和4年度		4,071,146	352,264	165,923	11,557	24,536

(人口及び世帯数は各年度の4月1日現在)

(5) 消防費性質別予算額

(千円)

科目	年度	令和4年度		令和3年度		増減	
		額(A)	割合(%)	額(B)	割合(%)	(A)-(B)	増減比(%)
消防費		4,071,146	100.0	3,995,202	100	75,944	1.9
人件費		3,318,664	81.5	3,351,722	83.9	△33,058	△1.0
維持補修費		4,770	0.1	4,770	0.1	0	0.0
物件費		459,029	11.3	414,022	10.4	45,007	10.9
補助費等		81,612	2.0	77,542	1.9	4,070	5.2
普通建設事業費		207,071	5.1	147,146	3.7	59,925	40.7

## 7 職員の階級別配置状況

(令和4年4月1日現在)

区分 所属等	合計	消防局長	次長	課長 防災官 主幹 副署長	補佐 主査 中隊長	係長 小隊長	係員			
		消防正監	消防副監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
合計	393	1	1	21	54	94	142	1	79	
局	局長	1	1							
	次長	1	1							
	総務課	36		2	2	5	7		20	
	消防課	13		2	4	5	2			
	予防課	10		2	1	3	4			
	文化財防災官	(1)		(1)						
	救急課	6		1	1	1	3			
	指令課	19		4	4	3	8			
	小計	86	1	1	11	12	17	24	20	
署	中央消防署	本署	88	46		2	6	10	18	10
		佐保分署		21 (22)		(1)	3	6	7	5
		南部分署		21 (22)		(1)	3	6	11	1
	南消防署	本署	67	46		2	6	10	19	9
		西大寺分署		21 (22)		(1)	3	6	7	5
	西消防署	本署	64	43		2	6	10	13	12
		富雄分署		21 (22)		(1)	3	6	6	1
	北消防署	27	27		2	3	7	10	5	
	東消防署	本署	61	28		2	3	7	11	5
		東部分署		21 (22)		(1)	3	6	10	2
月ヶ瀬分署			12 (13)		(1)	3	3	6		
小計	307			10	42	77	118	1	59	
条例定数	412									

(注) 市長部局へ2名出向及び文部科学省文化庁へ1名出向(定数外)、文化財防災官、指揮救助隊長、佐保分署長、南部分署長、西大寺分署長、富雄分署長、東部分署長及び月ヶ瀬分署長は事務取扱。

## 8 職員の階級別勤続年数調べ

(令和4年4月1日現在)

階級別 年数別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	393	79	1	142	94	54	21	1	1
1年	21	21							
2年	17	17							
3年	16	16							
4年	16	16							
5年	5	5							
6年	4	4							
7年	2			2					
8年	3			3					
9年	15			15					
10年	12			12					
11年	14			13	1				
12年	9			9					
13年	14			14					
14年	13			13					
15年	18			18					
16年	7			7					
17年	9			9					
18年	17			6	11				
19年	5			1	4				
20年	5			1	4				
21年									
22年									
23年	2				2				
24年									
25年									
26年	17			5	9	3			
27年									
28年	24			2	19	3			
29年	16			5	7	3	1		
30年	23			2	12	9			
31年	16		1		7	8			
32年	12			1	2	9			
33年	11			1	3	5	2		
34年	1				1				
35年	13			1	4	6	2		
36年									
37年	14				4	5	5		
38年	5				1	1	3		
39年	2					1	1		
40年	9			2	1	1	5		
41年	3						2	1	
42年	3				2				1
43年									
44年									
45年									
46年									
47年									
48年以上									

(注) 市長部局へ2名出向及び文部科学省文化庁1名出向(定数外)

## 9 職員の階級別年令調べ

(令和4年4月1日現在)

階級別 年令別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	393	79	1	142	94	54	21	1	1
18歳	3	3							
19歳	1	1							
20歳	9	9							
21歳	5	5							
22歳	11	11							
23歳	16	16							
24歳	5	5							
25歳	7	7							
26歳	8	7		1					
27歳	6	6							
28歳	5	3		2					
29歳	9	5		4					
30歳	6	1		5					
31歳	9			9					
32歳	10			10					
33歳	10			10					
34歳	12			12					
35歳	14			13	1				
36歳	12			12					
37歳	14			13	1				
38歳	9			8	1				
39歳	10			9	1				
40歳	7			5	2				
41歳	10			8	2				
42歳	3			1	2				
43歳	7			2	5				
44歳	6			1	5				
45歳	15			3	12				
46歳	9			3	5	1			
47歳	19			2	10	7			
48歳	14				10	4			
49歳	23		1	3	9	10			
50歳	14			1	4	8	1		
51歳	16				9	6	1		
52歳	8			2	3	2	1		
53歳	6				3	3			
54歳	13				3	5	5		
55歳	1					1			
56歳	7			1	3	1	2		
57歳	5			1			4		
58歳	5			1		1	2	1	
59歳	14				3	5	5		1
60歳	0								
61歳	0								
62歳	0								
63歳	0								
64歳	0								
65歳以上	0								

(注) 市長部局へ2名出向及び文部科学省文化庁1名出向(定数外)

10 職員の研修状況

(令和3年度中)

区	分	研 修 科 目	回 数	延人数
派遣研修	県消防学校	初任教育	1	16
		救急科（標準課程）	1	17
		救助科	1	3
		火災調査科	1	3
		幹部教育中級幹部科	1	2
		特別教育無線通信教育（第4期） 第2級陸上特殊無線技士養成課程	1	20
	消防大学校	幹部科（第67期）	1	1
		女性活躍推進コース（第6回）	1	1
		査察業務マネジメントコース	1	1
		救急科（第83期）	1	1
	救急救命士養成課程	救急救命九州研修所	1	1
		京都市消防学校	1	1
		大阪市消防局高度専門教育訓練センター	1	1
	その他	大阪市消防局火災調査実務研修	1	1
		京都市消防局火災調査実務研修	1	1
		玉掛け技能講習	1	3
		フルハーネス型墜落制止用器具特別講習	1	15
		小型移動式クレーン運転技能講習	1	3
		消防職員安全衛生管理研修会	1	2
		潜水士免許準備講習会	1	3
特別研修	局	消防職向け手話講習会	1	26
		全職員研修会	1	59
		救急業務に関する研修	2	29
		火災調査研修	1	36
		査察業務に関する研修	2	52
職場研修	署	服務	15	101
		庶務	7	26
		情報	2	13
		法規	6	47
		安全管理	12	63
		予防	64	260
		査察	47	151
		危険物	6	24
		警防	976	4641
		救急	229	721
		救助	904	3422
		通信	104	475
		災害対策	38	210
		消防機械器具	105	458
		火災原因調査	28	127
		その他（広報含む）	80	356

## 11 奈良市消防音楽隊の概要

消防音楽隊は、「消防行政のPR」と「防火思想の普及」のため、消防の諸行事、市のイベント等で演奏を行っています。又、広く市民と交流を図るために各種団体等からの演奏依頼にも積極的に参加し、火災予防と市民の安全を願いつつ活動を続けています。

### (1) 音楽隊員の配置状況

(令和4年4月1日現在)

階級別 所属別		計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
		計	24	0	4	5	6	9	0
消防局	総務課	5		2	1		2		
	消防課	1				1			
	予防課	3			1	1	1		
	救急課	2				1	1		
	指令課	3		1	2				
	計	14		3	3	2	4		
消防署	中央署	4				2	2		
	南署	4		1		1	2		
	西署	2			1		1		
	北署	0							
	東署	0							
計	10		1	1		3	3		

※ 消防署については分署を含めた総数

### (2) 音楽隊の編成状況

隊長 1名  
副隊長 1名  
楽長 1名  
副楽長 1名  
隊員 20名  
計 24名



## (楽器保有数)

(令和4年4月1日現在)

品名	数	品名	数
ピッコロ	2	マーチングユーフォニウム	1
フルート	2	チューバ	2
クラリネット	6	スーザフォン	2
アルトサクソ	2	スネアドラム	3
テナーサクソ	2	バスドラム	2
トランペット	7	クオード	1
コルネット	2	ドラムセット	1式
フレンチホルン	2	グロッケン	2
マーチングホルン	2	シンバル	1
テナートロンボーン	4	シンセサイザー	1
バストロンボーン	1	コンガ	1
ユーフォニウム	2	ボンゴ	1

## (階級、年齢別)

(令和4年4月1日現在)

階級別 年齢別	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	24	0	4	5	6	9	0	0
20才～24才	0							
25才～29才	0							
30才～34才	4					4		
35才～39才	4				2	2		
40才以上	16	0	4	5	4	3		

(3) 音楽隊の活動状況

派 遣 演 奏 等					
	合計	音楽隊 自主事業	消防関係	市関係	その他
回 数	0回	0回	0回	0回	0回

(令和3年度中)



「大安寺西小学校訪問演奏会」



## 防災センター関係



「春の特別企画（イベント）」

## 12 奈良市防災センター

奈良市防災センターは、国土庁(当時)の防災基地建設モデル事業として全国で10番目に国の補助を受け、平成5年9月から平成7年6月までの3カ年の継続事業として建設しました。

災害時には、情報処理の迅速かつ適正な運用や応急救護、住民の避難場所として活用し、また平常時には、防災PR活動や防災教育を行う拠点とする防災基地として、平成7年8月1日に運用を開始して以来、多数の来館者を迎え皆様に親しまれています。

防災教育普及啓発のため実施してきました各種防災体験(消火・地震・煙避難・台風等)については、令和3年3月31日をもって終了し、現在は地震体験・消火体験・通報体験・煙避難体験ができる防災指導車(愛称:Bousai キャラバン号)を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大に配慮しつつ、市内で実施される自主防災訓練等で防災教育の普及に努めています。

### (1) 防災センター

#### ア 組織

センター長(総務課主幹兼務)

#### イ 事業概要

奈良市防災センターの管理運営及び防災に関する知識と技術の普及事業を行うことにより、市民の防災意識の高揚を図る。

### (2) 概要

#### ア 施設

所在地 奈良市八条五丁目404番地の1

開館 平成7年8月1日

敷地面積 6,622.12㎡(奈良市消防局・南消防署併設庁舎と同一敷地内)

延床面積 3,021.37㎡ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

1階 119番通報体験、奈良市の防災体制、緊急地震速報展示装置、防災Q&A、消防局救急課事務室

2階 研修室、視聴覚室、救急措置訓練室、図書室

3階 消防局指令課、奈良市・生駒市消防指令センター、災害対策作戦室、コンピュータ室

4階 多目的ホール、備蓄倉庫、無線機械室

イ 開館時間 午前9時30分から午後4時30分

ウ 休館日 月曜日(その日が国民の祝日に当たるときは、開館しその翌日が休館)

休日の翌日(その日が、土・日曜日及び休日にあたる場合は開館)

年末年始 12月28日から翌年1月4日まで

エ 入館料 無料

## (3) 入館状況

(令和3年度中)

区分 月	個人	普通救命講習				合計 人数
		団体申込		定期講習(注1)		
	人数	団体数	人数	回数	人数	
4	0	0	0	8	17	17
5	0	0	0	0	0	0
6	13	0	0	3	18	31
7	16	0	0	14	73	89
8	2	0	0	10	63	65
9	20	0	0	16	62	82
10	14	0	0	15	69	83
11	49	0	0	17	91	140
12	18	0	0	15	68	86
1	5	0	0	15	61	66
2	4	0	0	1	2	6
3	14	0	0	2	4	18
合計	155	0	0	116	528	683

(注1) 定期講習とは普通救命講習Ⅰ(主に成人を対象とした講習)及び普通救命講習Ⅲ

(主に乳幼児を対象とした講習)並びに救命入門コース(90分講習)でいずれも

個人申込によるもの ※上級救命講習は令和3年度実施無し

## (4) 施設利用状況

(令和3年度中)

区分 月	研修室		視聴覚室		救急処置訓練室		図書室	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	2	72	8	17	8	17	0	0
5	3	100	0	0	0	0	2	81
6	4	134	6	43	4	23	1	8
7	5	148	16	107	14	73	0	0
8	5	87	14	137	11	65	2	3
9	6	188	18	125	16	62	2	19
10	6	110	19	149	16	77	0	0
11	7	162	18	98	17	91	1	7
12	3	80	16	74	15	68	0	0
1	2	75	15	61	15	61	0	0
2	2	60	1	2	1	2	1	1
3	5	168	3	8	2	4	2	49
合計	50	1384	134	821	119	543	11	168

# 警 防 関 係



### 13 警防概要

令和3年中の警防出動（火災・救助・救急出動を除く出動）件数は865件で、一日平均2.4件出動しています。

出動内容は、ガス漏れや危険物流出に伴う危険排除出動や重篤患者に対応する救急隊の支援出動など多岐にわたり、近年、都市構造や社会環境等の変化に伴い、災害の発生要因は複雑多様化し、従来にも増して的確な災害対応が求められており、様々な災害に対応できる知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の警防体制は、これらの災害に対応すべく資機材や車両、消防水利等の整備を図るとともに、幅広い知識と技術の習得のため日々訓練・研修に取り組み、市民の安心・安全に期すべく体制強化に努めています。



「緊急消防援助隊林野火災訓練」

## 14 警防概況

年 別 区 分		令和3年	令和2年	比 較 △ 減
		出 動 件 数	865	1,161
種 別	自火報警戒（非火災）	159	158	1
	車両等からの油漏洩	64	63	1
	ガス漏れ	8	7	1
	風水害	6	5	1
	誤報・虚報	26	21	5
	PA連携	509	802	△293
	そ の 他	93	105	△12
出 動 人 員		5,137	6,158	△1,021
1ヶ月平均出動件数		72	97	△25

※「PA（RA）連携活動」とは、直近の救急車が現場到着に時間を要すると判断される場合又は消防隊（P）・救助隊（R）等が応急処置等を実施することが効果的と認められる場合において、災害現場に近い消防隊等を出動させ、救急隊が到着するまでの間の傷病者に対する応急処置等を行うとともに、救急隊が行う応急処置及び救急救命処置の補助等を行うもの、また救急隊のみでは活動が困難と予想される事案に対する支援等の活動をいう。（Aは救急隊）

15 署別警防出動状況

(令和3年中)

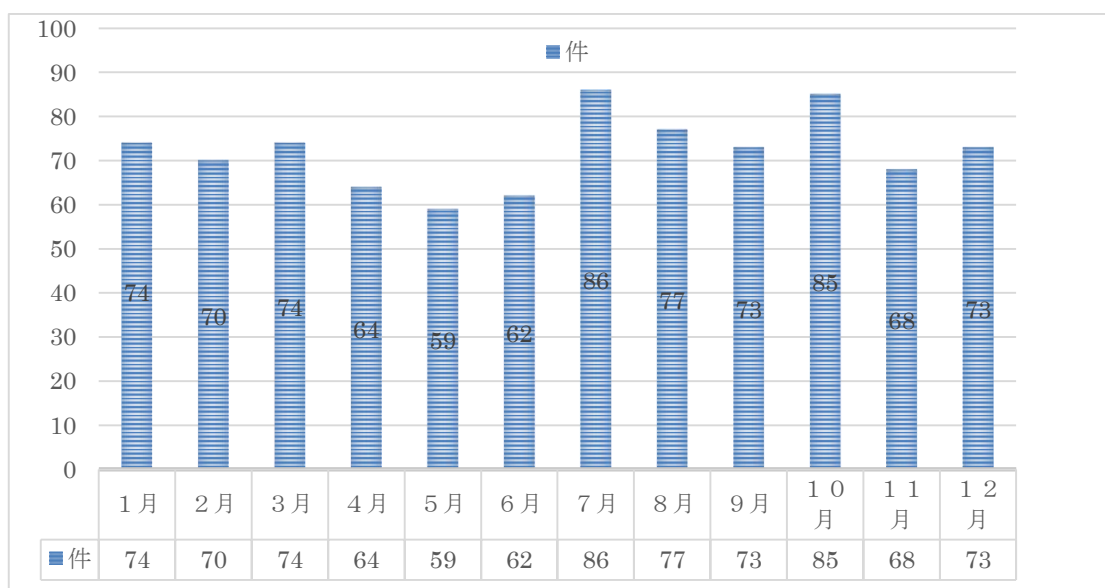
区分		種別	計	自火報警戒 (非火災)	車両等からの油漏洩	ガス漏れ	風水害	誤報・虚報	PA連携	その他
計	出動件数		865	159	64	8	6	26	509	93
	出動人員		5,137	1,287	545	66	29	388	1,981	841
中央消防署	本署	出動件数	131	34	6	6	1	3	77	4
		出動人員	832	271	56	49	3	79	310	64
	佐保分署	出動件数	69	12	5			3	43	6
		出動人員	402	106	39			49	165	43
	南部分署	出動件数	88	12	3	1	1	8	52	11
		出動人員	561	107	40	9	4	92	203	106
南消防署	本署	出動件数	100	22	11		1	8	42	16
		出動人員	749	184	94		8	89	176	198
	西大寺分署	出動件数	69	16	2		1	1	44	5
		出動人員	371	131	16		6	7	171	40
西消防署	本署	出動件数	121	32	13			1	68	7
		出動人員	719	248	113			32	268	58
	富雄分署	出動件数	102	12	10	1		1	72	6
		出動人員	521	97	80	8		17	272	47
北消防署	本署	出動件数	80	5	7		1	1	59	7
		出動人員	430	42	60		5	23	233	67
東消防署	本署	出動件数	64	7	2				38	17
		出動人員	331	54	23				134	120
	東部分署	出動件数	35	5	5		1		14	10
		出動人員	192	34	24		3		49	82
	月ヶ瀬分署	出動件数	6	2						4
		出動人員	29	13						16

## 16 月別警防出動状況

(令和3年中)

種別 月別	計	自火報警戒 (非火災)	車両等からの油漏洩	ガス漏れ	風水害	誤報・虚報	P A連携	その他
計	865	159	64	8	6	26	509	93
1	74	14	5			2	46	7
2	70	11	11	1		1	32	14
3	74	7	6	1			52	8
4	64	6	4			5	47	2
5	59	12	2		3		36	6
6	62	14	3			1	40	4
7	86	24	10	1	2	1	40	8
8	77	16	3	2	1	4	43	8
9	73	15	6	3		3	43	3
10	85	14	6			6	43	16
11	68	15	3			2	42	6
12	73	11	5			1	45	11

### 月別警防出動件数





17 消防車両等の配備状況

(令和4年4月1日現在)

区分 \ 署所	計	消防局	中央消防署			南消防署		西消防署		北消防署	東消防署		
			本署	佐保分署	南部分署	本署	西大寺分署	本署	富雄分署		本署	東部分署	月ヶ瀬分署
計	117	22	16	6	5	17	4	11	4	10	12	6	5
ポンプ車	13		1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1
水槽付ポンプ車	4				1			1		1	1		
化学車	2		1			1							
30m梯子車	1							1					
35m梯子車	2		1							1			
25m屈折梯子車	1					1							
高所救助放水車	1					1							
I型救助工作車	2									1	1		
II型救助工作車	2		1					1					
III型救助工作車	1					1							
電源車	1		1										
高規格救急車	13	1	2		1	2	1	1	1	1	1	1	1
災害対応特殊救急車	3			1				1			1		
指令車	9	6	1					1			1		
広報車	5	3				1				1			
査察車	10	1	1			1	1		1	1	2	1	1
バス	1	1											
楽器搬送車	1	1											
搬送車	5	2	1		1			1					
中型水陸両用車	1	1											
支援車	2	2											
輸送車	1					1							
連絡車	2	1									1		
燃料補給車	1	1											
予防啓発車	1	1											
軽四輪積載車	1			1									
原動機付自転車	16		2	1	1	3	1	2	1	1	2	1	1
小型動力ポンプ	15	1	4	2		3		1		1	1	1	1

(注) 中央消防署・南消防署・佐保分署の小型動力ポンプは、管轄内の社寺及びならまち分を含む。

## 18 消防水利状況

(令和4年4月1日現在)

### (1) 消火栓

区分 署別	合 計	公 設	私 設	その他(簡水)
合 計	5, 8 6 7	5, 0 8 0	3 3 4	4 5 3
中央消防署	1, 8 6 5	1, 6 1 0	2 0 0	5 5
南 消 防 署	1, 3 2 1	1, 2 4 8	7 3	0
西 消 防 署	1, 4 9 2	1, 4 6 2	3 0	0
北 消 防 署	5 2 5	4 9 4	3 1	0
東 消 防 署	6 6 4	2 6 6	0	3 9 8

### (2) 防火水槽

区分 署別	公 設				私 設			
	有 蓋		無 蓋		有 蓋		無 蓋	
	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上
合 計	5 1 7	4 1	1 3 5	0	6 9 8	4 5	3 4	8
中央消防署	1 2 4	1 3	1 2	0	2 1 2	1 8	6	2
南 消 防 署	5 8	6	0	0	1 6 4	1 3	2	3
西 消 防 署	1 2 3	1 1	0	0	1 9 0	1 2	1	1
北 消 防 署	3 3	6	1	0	6 0	0	0	1
東 消 防 署	1 7 9	5	1 2 2	0	7 2	2	2 5	1

### (3) その他の水利

区分 署別	た め 池	プ ー ル	河 川
合 計	1 9 6	9 5	2 7
中 央 消 防 署	4 2	3 1	7
南 消 防 署	3 5	1 5	6
西 消 防 署	2 1	2 2	2
北 消 防 署	2 2	1 0	0
東 消 防 署	7 6	1 7	1 2

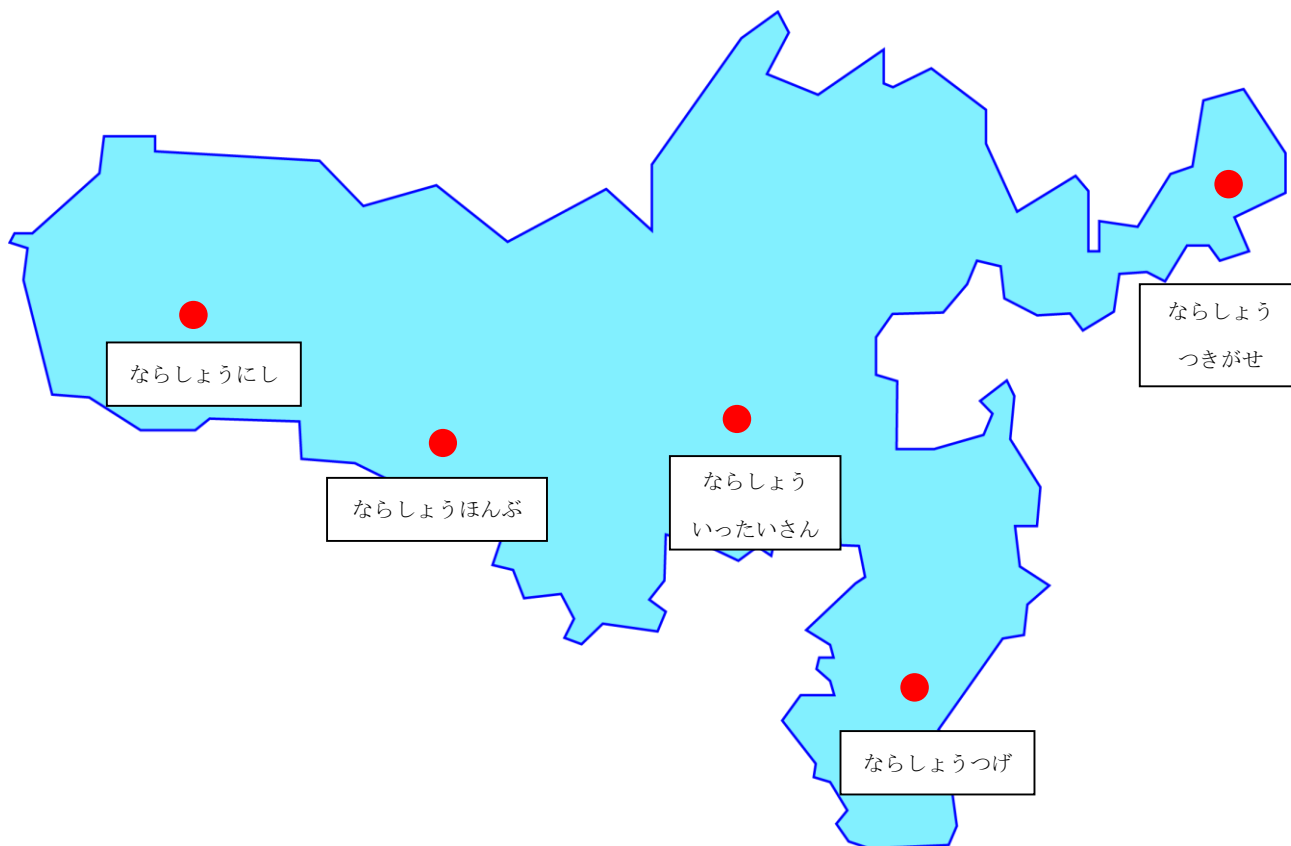
# 通 信 関 係



「奈良市・生駒市消防指令センター」

## 19 通信施設

### (1) 基地局



基地局 (デジタル)	消防局	一体山 前進基地局	都祁 前進基地局	西消防署 前進基地局	月ヶ瀬 前進基地局
呼出名称	ならしょう ほんぶ	ならしょう いったいさん	ならしょう つげ	ならしょう にし	ならしょう つきがせ
出力	10W	5W	10W	10W	10W
実装 周波 数 名 称	活動波 1	○	○		
	活動波 2	○	○	○	○
	活動波 3	○	○	○	○
	活動波 4	○			
	主運用波	○	○	○	
	統制波 1	○	○	○	
	統制波 2	○	○	○	
	統制波 3	○	○	○	

(2) 無線電話の現状

(令和4年4月1日現在)

局別		区分	実装周波数名称	出力	総数	消防局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署		
消防救急無線	デジタル無線機	車載無線機	活動波 1 活動波 2 活動波 3 活動波 4 主運用波 統制波 1 統制波 2 統制波 3	10W	87	22	17	14	11	8	15		
		可搬型無線機		10W	8	3	1	1	1	1	1		
		携帯無線機		5W	64	12	14	11	10	6	11		
	アナログ無線機	可搬型無線機		防災相互波	10W	2	2						
		携帯無線機			5W	17	5	3	3	2	1	3	
		携帯無線機 (署活動系)			1W	167 (166)	26	38	30	28	16	29	
	市防災行政無線				1W	1	1						
救急車積載携帯電話				0.8W	16	1	4	3	3	1	4		
画像伝送装置					16	2	4	3	3	1	3		
位置管理用通信機					57	7	13	10	9	7	11		

## (3) 有線電話

(令和4年4月1日現在)

局別 \ 区分	計	消防局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
火災専用電話（固定電話・IP電話等） 119番	12	12					
非常用119番	10	10					
携帯119番	4	4					
携帯119番転送回線	6	6					
一般加入電話	34	6（一般） 4（着信専用） 3（単独） 3（発信専用）	5	3	4	2	4
内 線	186	79	32	22	19	13	21
テレガイド	14	14					
警察電話	1	1					
110番転送	1	1					
大阪ガス直通	1	1					
市役所直通	1	1					
企業局直通（緑ヶ丘浄水場）	2	2					
阪神高速	1	1					
近鉄生駒駅	1	1					
相楽中部消防組合消防本部	1	1					

## (4) 119番着信件数

(令和3年中)

区分 月	緊急性を要する通報							緊急性を要しない通報										
	総 数	火 災	救 急	救 助	警 戒	水 防	調 査	病 院 問 合 せ	問 合 せ	相 談	苦 情	感 謝	間 違 い	いた ずら	回 線 テ ス ト	自 動 通 報 試 験	訓 練 通 報	そ の 他
総 数	28,269	103	19,521	214	296	0	5	893	1,923	355	30	18	1,439	401	186	499	482	1,904
1	2,295	6	1,592	25	27			59	186	28	2	2	130	23	18	23	17	157
2	2,044	17	1,406	16	44		1	54	153	19			101	10	9	31	31	152
3	2,257	8	1,604	16	16		2	47	180	15	2	3	110	10	12	39	57	136
4	2,244	14	1,561	14	15			72	181	15	1	1	104	15	28	50	26	147
5	2,219	8	1,493	17	18			95	169	27		1	117	19	12	46	29	168
6	2,416	4	1,566	14	19			51	147	48	13		124	157	17	39	43	174
7	2,580	10	1,737	18	34			98	197	45	5	1	147	45	14	44	20	165
8	2,577	7	1,839	22	23		1	101	168	30		2	140	29	6	29	23	157
9	2,369	5	1,648	17	24			80	137	38	2	1	118	34	14	34	41	176
10	2,426	13	1,682	22	26			59	144	42	1	2	124	31	15	47	50	168
11	2,320	5	1,577	11	26			95	126	19	4	1	114	10	23	74	85	150
12	2,522	6	1,816	22	24		1	82	135	29		4	110	18	18	43	60	154

## (5) 119番通報種別割合

(令和3年中)

区分 月	総数	NTT 固定		携 帯		I P		その他		携帯+IP	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	28,269	5,169	18.3%	14,338	50.7%	8,201	29.0%	561	2.0%	22,539	79.7%
1	2,295	407	17.7%	1,122	48.9%	718	31.3%	48	2.1%	1,840	80.2%
2	2,044	418	20.5%	992	48.5%	596	29.2%	38	1.9%	1,588	77.7%
3	2,257	441	19.5%	1,082	47.9%	699	31.0%	35	1.6%	1,781	78.9%
4	2,244	413	18.4%	1,088	48.5%	676	30.1%	67	3.0%	1,764	78.6%
5	2,219	394	17.8%	1,183	53.3%	594	26.8%	48	2.2%	1,777	80.1%
6	2,416	407	16.8%	1,338	55.4%	636	26.3%	35	1.4%	1,974	81.7%
7	2,580	438	17.0%	1,364	52.9%	732	28.4%	46	1.8%	2,096	81.2%
8	2,577	435	16.9%	1,417	55.0%	673	26.1%	52	2.0%	2,090	81.1%
9	2,369	438	18.5%	1,214	51.2%	666	28.1%	51	2.2%	1,880	79.4%
10	2,426	463	19.1%	1,224	50.5%	704	29.0%	35	1.4%	1,928	79.5%
11	2,320	475	20.5%	1,082	46.6%	716	30.9%	47	2.0%	1,798	77.5%
12	2,522	440	17.4%	1,232	48.9%	791	31.4%	59	2.3%	2,023	80.2%

## (6) テレフォンガイド利用数

(令和3年中)

計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
16,831	1,152	1,822	1,071	1,325	1,302	864	1,967	1,378	1,051	2,060	1,488	1,351



## (7) 月別気象状況 (消防局)

(令和3年中)

区分 月	気温 (°C)			湿度 (%)			風速 (m/s)			降水量 (mm)			気圧 (hpa)		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1	4.9	17.2	-2.2	70.2	99.9	25.5	2.9	20.5	北	59.5	23.0	9.0	1005.9	1017.6	992.2
2	7.5	20.8	-1.2	63.5	99.9	9.7	3.0	22.0	北	43.5	28.0	4.0	1007.7	1024.8	985.3
3	11.3	22.9	0.0	69.5	99.9	10.8	2.6	18.8	北	96.5	25.5	9.0	1004.3	1020.6	988.1
4	14.8	27.0	3.0	63.3	99.9	8.3	2.8	18.4	北	145.5	59.0	10.0	1003.4	1018.6	987.9
5	19.5	30.2	8.2	71.9	99.9	14.1	2.5	22.7	西南西	189.0	47.5	13.0	995.9	1006.2	984.9
6	23.8	35.2	16.0	71.4	99.9	19.1	2.0	13.9	北北東	103.5	35.5	10.0	994.7	1004.1	982.7
7	27.9	36.7	20.6	74.1	99.9	34.4	2.2	18.8	西南西	210.5	54.5	12.0	996.0	1005.0	985.2
8	27.6	37.9	20.8	78.1	99.9	25.8	2.2	25.2	南南東	268.5	74.0	13.0	997.9	1007.8	976.8
9	24.3	33.0	18.1	79.5	99.9	39.7	2.1	13.0	北	147.0	25.5	12.0	1005.3	1014.1	995.1
10	19.3	31.9	7.1	73.6	99.9	25.0	2.1	16.7	北	56.0	26.0	7.0	1010.8	1019.7	991.5
11	12.6	23.6	1.5	74.2	99.9	34.9	2.1	19.2	北	57.5	22.0	6.0	1009.8	1026.2	994.0
12	7.5	17.1	-0.5	72.8	99.9	31.9	2.8	22.8	西南西	74.0	24.0	7.0	1011.5	1022.0	994.5
平均	16.8	27.8	7.6	71.8	99.9	23.3	2.4	19.3	北	120.9	37.0	9.3	1003.6	1015.6	988.2

## (8) 月別気象状況 (東消防署)

(令和3年中)

区分 月	気温 (°C)			湿度 (%)			風速 (m/s)			降水量 (mm)			気圧 (hpa)		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1	1.5	12.3	-6.2	83.9	99.1	33.6	2.8	21.2	西	43.0	17.5	8.0	963.8	974.7	950.4
2	4.0	16.4	-5.7	77.6	98.6	23.6	2.7	22.5	西	55.0	27.5	7.0	962.6	976.8	939.5
3	7.6	18.8	-3.5	83.2	99.1	15.5	1.9	17.0	西	79.5	21.0	11.0	963.4	974.1	948.5
4	10.8	22.6	-2.0	77.7	98.8	10.0	2.0	16.5	西	62.0	18.5	10.0	963.5	977.5	948.7
5	15.8	25.2	3.6	83.1	98.8	20.5	2.2	18.6	西	103.5	26.5	16.0	957.1	966.2	946.2
6	19.6	28.6	11.2	85.7	98.6	29.1	1.5	14.8	東北東	87.5	18.0	13.0	956.8	966.0	944.8
7	23.8	31.4	18.2	86.8	98.6	47.5	1.9	15.4	西	155.0	51.0	9.0	958.1	967.1	948.0
8	23.7	31.7	17.9	88.8	98.6	26.3	1.9	23.5	西	210.0	37.5	13.0	958.1	965.8	939.2
9	20.4	27.8	14.5	91.2	98.6	53.3	1.6	10.7	西	118.5	26.5	15.0	960.8	969.0	951.3
10	15.1	27.0	1.5	87.1	98.3	31.1	1.4	13.3	西	29.5	17.0	6.0	965.1	973.1	947.2
11	8.6	19.3	-2.6	86.7	98.3	49.1	1.9	18.8	西	50.0	22.5	8.0	963.1	977.5	948.5
12	3.9	13.2	-3.8	86.3	98.3	49.7	2.6	19.3	西	79.5	27.0	8.0	963.6	974.0	947.6
平均	12.9	22.9	3.6	84.8	98.6	32.4	2.0	17.6	西	89.4	25.9	10.3	961.3	971.8	946.7

# 救急関係



「奈良県ドクターヘリ要請訓練」

## 20 救急概要

令和3年中の救急出場件数は19,762件で前年と比べて1,166件増加、搬送人員は18,028人となり前年度より972人増加しました。1年間で市民約20人に1人の割合で搬送したことになります。

救急出場件数を事故種別に分類するとトップに急病13,031件、続いて一般負傷3,402件、交通事故1,059件の順となっており、この3つの種別だけで全体の約89%を占めています。

当市においては、これらの救急事案に対処するため、平成4年度から救急高度化推進事業として最新の資器材と優れた救急隊員をもって、高規格救急自動車16台、救急救命士55名（令和4年1月1日現在）を配置、うち高規格救急自動車1台を平成22年10月よりドクターカーとして運用し、あらゆる救急事故発生に備え市民の救命率向上を図るために万全の体制を期しております。



「奈良市消防局 高規格救急自動車（86号車）」

21 救急資器材

(令和4年4月1日現在)

分類	品名	分類	品名	
観察用資器材	患者監視装置	保温・搬送用資器材	雨おおい	
	血圧計		スクープストレッチャー	
	血中酸素飽和度測定器		担架	
	検眼ライト		バックボード	
	心電計		保温用毛布	
	体温計		資通信器材用	車載無線機
	聴診器			携帯電話
	血糖値測定器			情報通信端末
	心電図伝送等送受信機器			
呼吸・循環管理用資器材	気道確保用資器材	資保創器護傷材用等	固定用資器材	
	吸引器一式		創傷保護用資器材	
	喉頭鏡	資消止感器毒・染器材用・防	感染防止用資器材	
	酸素吸入器一式		消毒用資器材	
	自動式人工呼吸器一式	その他の資器材	トリアージタグ	
	自動体外式除細動器		膿盆	
	手動式人工呼吸器一式		はさみ	
	マギール鉗子		ピンセット	
	呼気二酸化炭素測定器具		分娩用資器材	
	ショックパンツ		冷却用資器材	
	自動式心マッサージ器		保安帽	
	心肺蘇生用背板		救急かばん	
	特定行為用資器材		警笛	
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	懐中電灯			
資救器出材用	救命浮環	在宅療法継続用資器材		
	救命綱	リングカッター		
	万能斧			

## 22 救急概況（前年との比較）

区 分		年 別		
		令和3年	令和2年	比較（△減）
出場件数		19,762	18,596	1,166
事故種別	火災	33	37	△4
	自然災害	0	0	0
	水難	4	7	△3
	交通	1,059	981	78
	労働災害	154	149	5
	運動競技	145	66	79
	一般負傷	3,402	3,470	△68
	加害	47	51	△4
	自損行為	161	172	△11
	急病	13,031	12,096	935
	転院搬送	1,657	1,457	200
	医師搬送	5	49	△44
	その他	64	61	3
救急件数		17,929	16,965	964
搬送人員（合計）		18,028	17,056	972
1ヵ月平均出場件数 （約）		1,646.8	1,549.7	97.1
1日平均出場件数 （約）		54.1	50.9	3.2

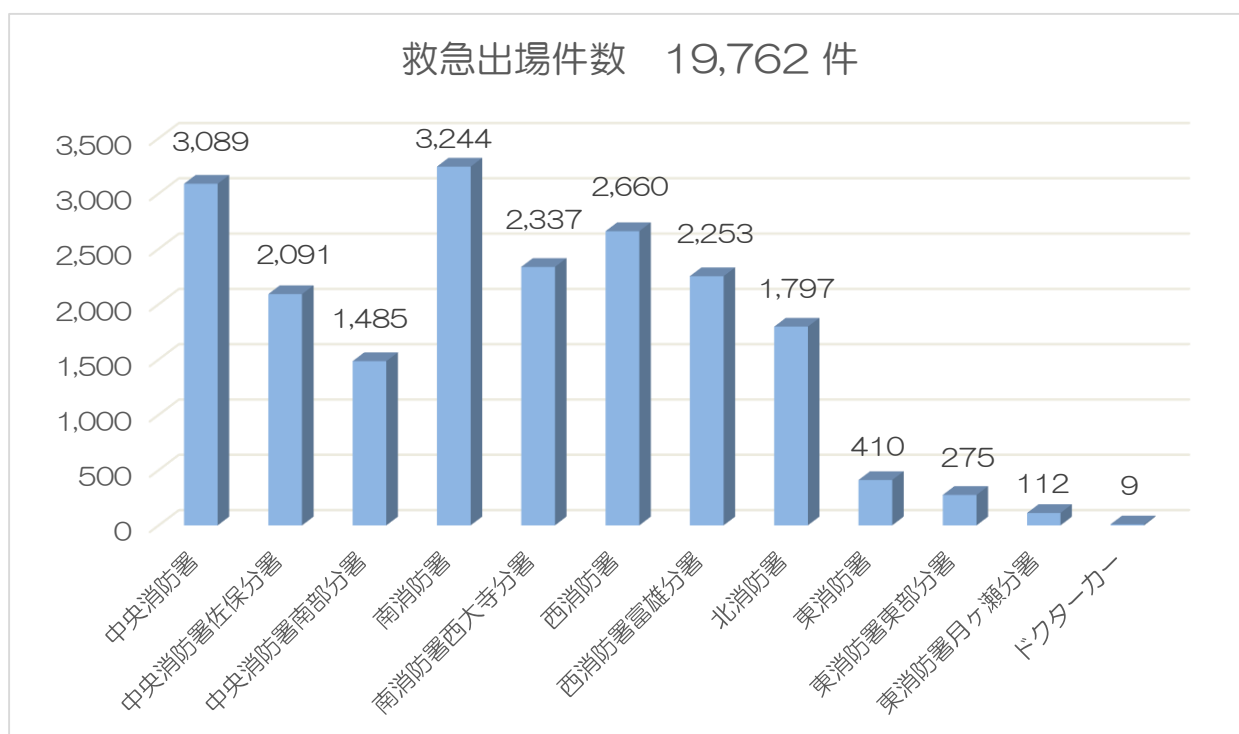
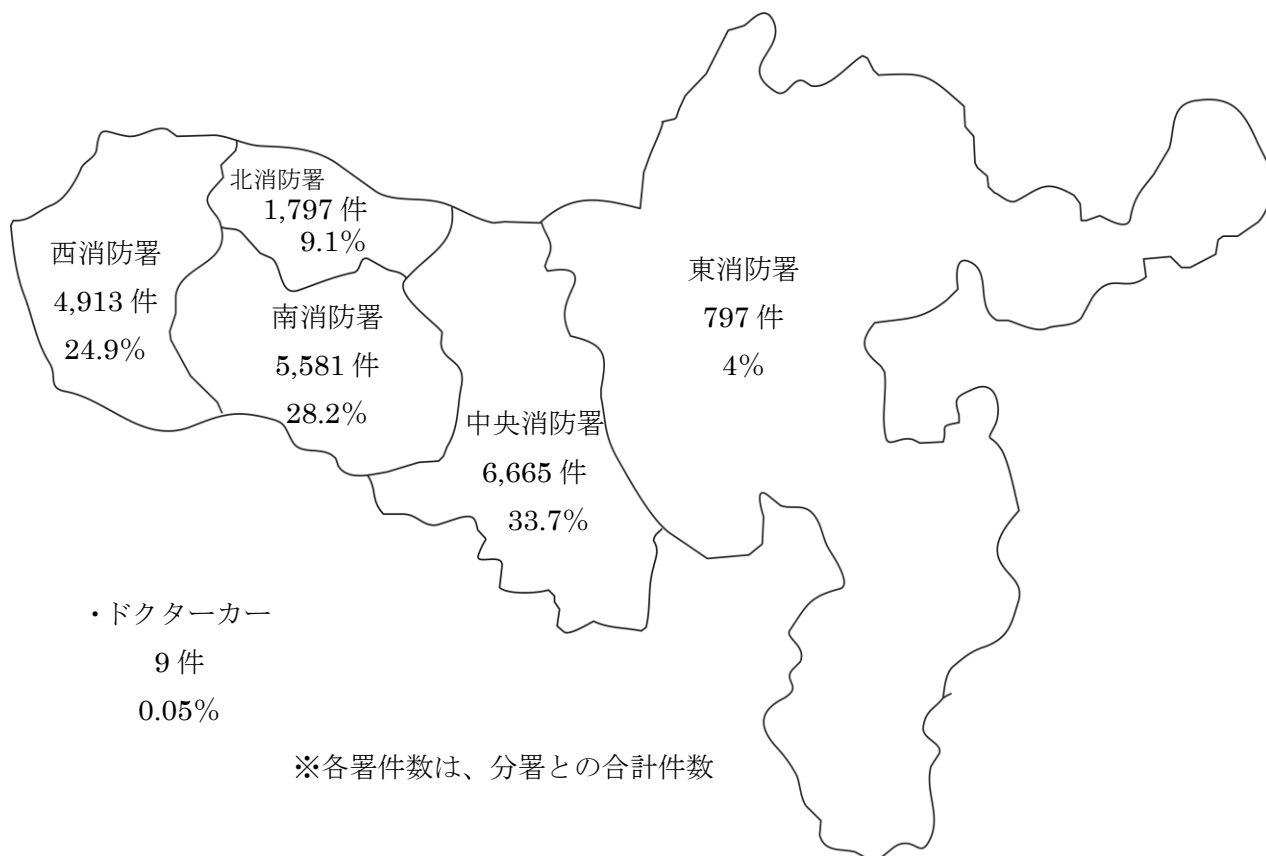
## 23 署別救急出場状況

(令和3年中)

区分		種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	出場件数		19,762	33	0	4	1,059	154	145	3,402	47	161	13,031	1,726
	搬送人員		18,028	12	0	0	1,007	153	156	3,129	41	117	11,763	1,650
局本部	出場件数		0											
	搬送人員		0											
ドクターカー	出場件数		9				1			1			1	6
	搬送人員		3				1			1				1
中央消防署	本署	出場件数	3,089	8			144	15	8	511	12	33	2,082	276
		搬送人員	2,767	2			127	15	8	457	10	24	1,855	269
	佐保分署	出場件数	2,091	7			112	10	27	385	6	15	1,413	116
		搬送人員	1,878	2			111	10	27	341	6	12	1,254	115
	南部分署	出場件数	1,485	3			108	17	6	231	4	19	1,022	75
		搬送人員	1,367				101	16	6	221	3	16	931	73
南消防署	本署	出場件数	3,244	2			228	29	13	462	6	19	1,945	540
		搬送人員	3,009				224	29	13	437	4	13	1,765	524
	西大寺分署	出場件数	2,337	5		1	124	20	35	416	5	18	1,557	156
		搬送人員	2,173	3			117	20	41	388	4	12	1,446	142
西消防署	本署	出場件数	2,660	2			87	18	15	516	2	23	1,770	227
		搬送人員	2,365	2			80	18	18	459	2	15	1,554	217
	富雄分署	出場件数	2,253	3			112	12	4	402	6	16	1,523	175
		搬送人員	2,052	1			103	12	4	372	6	14	1,376	164
北消防署	本署	出場件数	1,797	1		1	77	7	25	310	4	13	1,232	127
		搬送人員	1,660	1			75	7	25	292	4	8	1,129	119
東消防署	本署	出場件数	410	2		1	34	19	7	61	2	1	262	21
		搬送人員	393	1			36	19	7	59	2	1	248	20
	東部分署	出場件数	275			1	28	4	5	72		3	159	3
		搬送人員	257				29	4	7	71		1	143	2
	月ヶ瀬分署	出場件数	112				4	3		35		1	65	4
		搬送人員	104				3	3		31		1	62	4

## 24 署別救急出場件数

(令和3年中)





## 25 月別救急出場状況

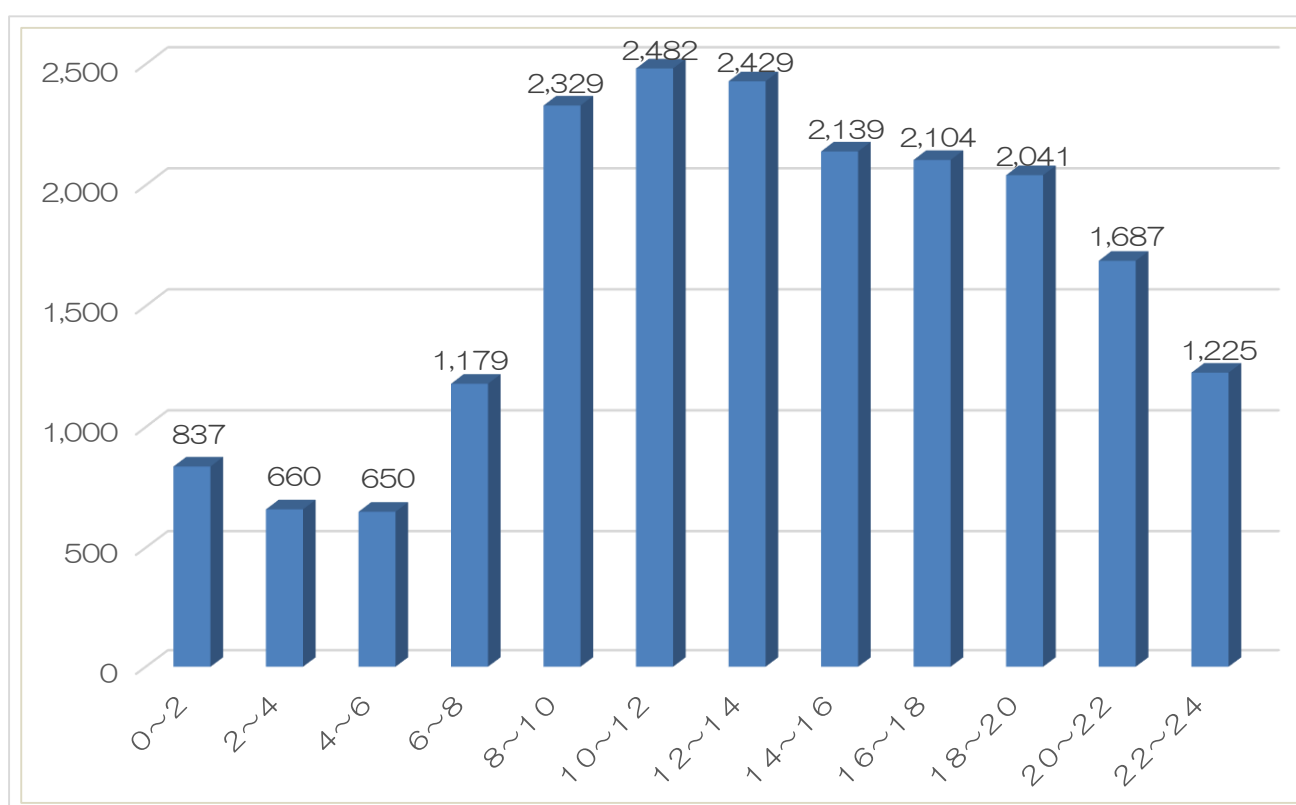
(令和3年中)

月別	区分	計	事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	出場件数	19,762	33	0	4	1,059	154	145	3,402	47	161	13,031	1,726
	搬送人員	18,028	12	0	0	1,007	153	156	3,129	41	117	11,763	1,650
1月	出場件数	1,620	3		1	75	13	7	273	5	21	1,073	149
	搬送人員	1,464	1			64	13	7	257	4	16	960	142
2月	出場件数	1,419	3			73	4	17	260	3	12	920	127
	搬送人員	1,300	1			66	4	18	241	3	10	836	121
3月	出場件数	1,621	4			93	9	11	293	5	13	1,054	139
	搬送人員	1,514	3			98	8	13	279	5	10	964	134
4月	出場件数	1,582	4			92	7	14	262	5	12	1,015	171
	搬送人員	1,446				87	7	15	242	4	10	918	163
5月	出場件数	1,539	4			88	6	7	239	5	11	1,049	130
	搬送人員	1,404	1			88	6	9	218	4	10	946	122
6月	出場件数	1,576	2			90	19	16	239	3	13	1,049	145
	搬送人員	1,458				82	19	17	221	3	9	967	140
7月	出場件数	1,753	2		1	92	26	23	286	3	14	1,169	137
	搬送人員	1,616	1			91	26	23	261	3	11	1,065	135
8月	出場件数	1,856	2			94	12	9	276	3	16	1,289	155
	搬送人員	1,690	1			92	12	10	248	3	9	1,171	144
9月	出場件数	1,659	1			83	18	11	295	5	10	1,090	146
	搬送人員	1,486				78	18	11	276	5	7	948	143
10月	出場件数	1,703	1			91	12	12	325	3	17	1,111	131
	搬送人員	1,544				85	12	15	294	3	12	1,001	122
11月	出場件数	1,593	3		2	86	11	6	294	4	14	1,025	148
	搬送人員	1,461	2			84	11	6	271	3	10	930	144
12月	出場件数	1,841	4			102	17	12	360	3	8	1,187	148
	搬送人員	1,645	2			92	17	12	321	1	3	1,057	140

## 26 時間別救急出場状況

(令和3年中)

事故種別 時間別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他
計	19,762	33	0	4	1,059	154	145	3,402	47	161	13,031	1,657	5	0	64
0～2	837				25	1	1	94	2	9	655	44			6
2～4	660				7			84	6	14	524	21			4
4～6	650				23	1		89	3	5	508	20			1
6～8	1,179	2			68	6		207	1	13	858	18			6
8～10	2,329	5			147	23	5	466	5	11	1,525	137			5
10～12	2,482	2			143	30	27	433	2	13	1,505	317			10
12～14	2,429	1		3	150	28	26	411	4	14	1,464	319	5		4
14～16	2,139	7			132	37	29	402		14	1,255	259			4
16～18	2,104	9			147	15	25	388	2	19	1,255	231			13
18～20	2,041	5			106	7	8	382	7	15	1,360	148			3
20～22	1,687	1			64	4	13	272	8	12	1,235	76			2
22～24	1,225	1		1	47	2	11	174	7	22	887	67			6



## 27 傷病程度別搬送人員

(令和3年中)

区分	事故種別 傷病程度	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	合計	18,028	12	0	0	1,007	153	156	3,129	41	117	11,763	1,650
	死亡	237	0	0	0	1	0	0	11	0	11	212	2
	重症	823	2	0	0	23	8	0	82	0	17	494	197
	中等症	9,455	4	0	0	205	51	79	1,175	6	54	6,529	1,352
	軽症	7,511	6	0	0	778	94	77	1,861	35	35	4,527	98
	その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
新生児	死亡	0					—	—			—		
	重症	3					—	—			—		3
	中等症	14					—	—			—	4	10
	軽症	5					—	—	1		—	4	
	その他	0					—	—			—		
乳幼児	死亡	1					—					1	
	重症	3					—					2	1
	中等症	112				1	—		7			76	28
	軽症	579				23	—		192			356	8
	その他	0					—						
少年	死亡	0											
	重症	4									2		2
	中等症	152				17	1	17	10		7	73	27
	軽症	426				66		43	84	3	4	224	2
	その他	0											
成人	死亡	28				1			1		7	18	1
	重症	180				15	7		6		9	85	58
	中等症	2,212	2			97	39	62	119	4	39	1,493	357
	軽症	2,722	3			459	79	31	368	24	29	1,688	41
	その他	1										1	
高齢者	死亡	208							10		4	193	1
	重症	633	2			8	1		76		6	407	133
	中等症	6,965	2			90	11		1,039	2	8	4,883	930
	軽症	3,779	3			230	15	3	1,216	8	2	2,255	47
	その他	1											1

※ 網掛けにあつては該当なし

28 救急隊員の行った応急処置回数

(令和3年中)

事故種別	処置	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法継続	除細動	血圧測定	心音等の聴取	血中酸素飽和度	心電図
	傷病程度															
合計	合計	424	479	33	0	387	2,974	491	331	957	18	26	17,147	1,534	17,860	7,162
	死亡	0	13	4	0	235	222	231	16	0	1	6	19	82	197	221
	重症	13	38	28	0	152	504	205	31	10	2	20	701	184	786	580
	中等症	96	193	1	0	0	1,981	51	189	209	12	0	9,331	865	9,430	4,179
	軽症	315	235	0	0	0	266	4	95	738	3	0	7,094	403	7,445	2,181
	その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	1
急病	計	52	32	22		337	2,294	417	232	24	17	21	11,140	1,203	11,660	5,871
	死亡		1	4		210	200	206	14		1	4	18	75	176	199
	重症	1		18		127	355	168	20		2	17	396	142	465	406
	中等症	8	22				1,522	39	130	17	11		6,450	730	6,515	3,441
	軽症	43	9				217	4	68	7	3		4,275	256	4,503	1,825
	その他												1		1	
交通事故	計	47	172	2		2	37	6	15	178			991	92	1,005	124
	死亡		1			1	1	1						1	1	1
	重症	3	14	2		1	15	5	2	3			23	11	23	19
	中等症	14	58				15		8	41			203	24	205	48
	軽症	30	99				6		5	134			765	56	776	56
	その他															
一般負傷	計	272	199	5		25	140	36	47	663	1	2	2,957	165	3,085	505
	死亡		1			11	9	11	1			1		4	9	8
	重症	1	10	4		14	24	16	3	3		1	73	16	80	31
	中等症	58	77	1			77	9	27	119	1		1,167	63	1,172	236
	軽症	213	111				30		16	541			1,717	82	1,824	230
	その他															
その他	計	53	76	4		23	503	32	37	92		3	2,059	74	2,110	662
	死亡		10			13	12	13	1			1	1	2	11	13
	重症	8	14	4		10	110	16	6	4		2	209	15	218	124
	中等症	16	36				367	3	24	32			1,511	48	1,538	454
	軽症	29	16				13		6	56			337	9	342	70
	その他						1						1		1	1

## 29 救急救命士による特定行為実施状況

(令和3年中)

事故 種別 応急 処置	病					交通事故					一般負傷					その他					合計					
	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
食道閉鎖式 エアウェイ	80	63									2	4				3	3				85	70	0	0	0	155
気管挿管	14	15									2	5				2					18	20	0	0	0	38
ブドウ糖投 与のための 静脈路確保		1	14	12															1		0	1	14	13	0	28
心停止前 静脈路確保	1	4	8				3	1				1		1			4	1			1	12	10	1	0	24
心停止後 静脈路確保	75	56					1				4	7				7	3				86	67	0	0	0	153
薬剤投与	71	51									3	7				8	3				82	61	0	0	0	143
血糖値測定		5	35	22								1							1		0	6	35	23	0	64
エピペン																					0	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与		1	14	11															1		0	1	14	12	0	27

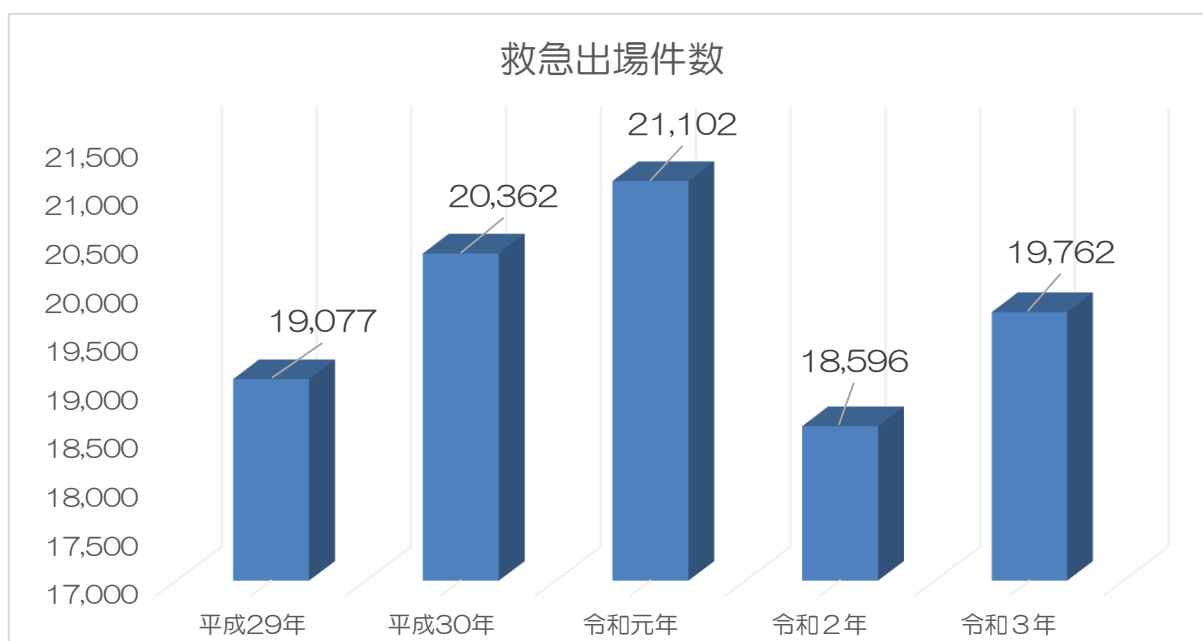
## 30 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調

(令和3年中)

傷病 程度	疾病 分類	計	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	症状・徴候・診断名 不明確の状態
			脳疾患	心疾患等								
計		11,763	781	709	749	1,152	398	369	383	134	1,390	5,698
死亡		212	2	18	1	1			1	2		187
重症		494	95	62	15	64	3	4	10	22	24	195
中等症		6,529	582	440	473	834	123	195	191	96	887	2,708
軽症		4,527	102	189	260	253	272	170	181	14	479	2,607
その他		1										1

### 31 過去5ヵ年の事故別救急出場状況

区分	種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
		平成29年	出場件数	19,077	28	1	3	1,384	154	128	3,235	80	145
	搬送人員	17,249	8	1	2	1,343	149	132	2,975	68	115	10,896	1,560
平成30年	出場件数	20,362	52	3	4	1,208	165	113	3,437	68	150	13,151	2,011
	搬送人員	18,432	16	1	1	1,190	161	113	3,176	53	107	11,865	1,749
令和元年	出場件数	21,102	45	0	7	1,256	174	123	3,685	63	182	13,659	1,908
	搬送人員	19,101	13	0	4	1,168	168	119	3,416	53	135	12,356	1,669
令和2年	出場件数	18,596	37	0	7	981	149	66	3,470	51	172	12,096	1,567
	搬送人員	17,056	15	0	4	940	147	69	3,232	41	120	11,042	1,446
令和3年	出場件数	19,762	33	0	4	1,059	154	145	3,402	47	161	13,031	1,726
	搬送人員	18,028	12	0	0	1,007	153	156	3,129	41	117	11,763	1,650



# 救助關係



「中型水陸兩用車・搬送車」

## 32 救助概要

令和3年中の救助出動件数は259件で、うち153件の救助活動により、145名を救助しています。

消防機関の行う救助活動は、近年、都市化の進展に伴い、災害の態様は複雑多様化・大規模化の傾向を強めており、救助事象における活動は複雑多岐にわたるものとなり、救助における高度な知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の救助体制は、南消防署に高度な救助資機材を導入した高度救助隊、中央消防署に特別救助隊、西消防署に専任救助隊、北・東各消防署に兼任救助隊を配置し、熟練された隊員により、あらゆる災害に対処し、市民の安全・安心に期しています。

また、国際消防救助隊員として6名の隊員を総務省消防庁に登録しており、海外での大規模災害に備え、各種研修への参加をはじめ、あらゆる想定訓練・教養を実施し資質向上に努めています。



「令和3年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」



### 33 高度救助用資機材

高度救助隊・特別救助隊に配置している救助工作車Ⅱ・Ⅲ型に、ファイバースコープ等の探索機、熱画像直視装置等の高度な資機材を積載し、大地震で多発する崩壊現場に対応するため、地震警報器等を導入し装備の充実を図っております。

資機材名	特 長
画像探索機（Ⅰ型） （ファイバースコープ）	生き埋め現場でカメラを空隙内に差込探索する。（ケーブルが自由自在に曲がる。Ⅱ型と比較して焦点距離が短い。）
画像探索機（Ⅱ型）	倒壊ビルの壁に穴を開けカメラを差込、室内等を探索する。（棒カメラを差込、Ⅰ型と比較して焦点距離が長く全体を観察出来る。）
水中探査装置	水難救助現場等、水中にカメラを入れ検索する。
地中音響探索機	地中聴音機で閉鎖された遭難者のノック信号を聞いて遭難者の位置を確認する。
電磁波探査装置	地震や土砂災害などで倒壊した建物や土砂などの下敷きになっている生存者を探索する。
熱画像直視装置	赤外線カメラである。暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
夜間暗視装置	超高感度暗視スコープで暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
地震警報器	軽量かつコンパクトでどこでも使用できるもので、地震の初期微動を検知し、大きな揺れになる前にいち早く警報を発するため、隊員等の安全管理に必要である。
小型マット型空気ジャッキ	小さな隙間に挟まれた救助対象者を救出するもので、従前の重装備に比べ軽量化になっている。
携帯用コンクリート破壊器具	油圧、空圧、空気式器具の使用できない現場での削岩破壊に使用する携帯器具である。
携帯用救助器具	救助作業は徒歩による移動が多いため必要な救助器具（オノ、金テコ、ショベル他）を携帯用に軽量化したもの。
救助用支柱器具	倒壊した建物等に閉じ込められた救助対象者を救助するために柱等支えるもので、空気を用いて遠隔操作で伸縮できる。

34 救助資機材

(令和4年4月1日現在)

分類	品名	分類	品名
一般救助用器具	かぎ付はし 三連はし 金属製折たたみはし ワイヤはし 空気式救助マツト銃 救命索発射 救助用縛 平担 ロ一 カ 滑	呼吸保護用器具	空気呼吸器（予備ボンベを含む。） 空気補充用ボンベ 酸素呼吸器（予備ボンベを含む。） 簡易呼吸器 防塵マスク 防風機
		隊員保護用器具	革手袋 耐電手袋 安全メガネ 防塵帯 携防塵マスク 防陽圧式化学防護服 耐熱放射線防護服（個人用線量計を含む。） 耐電靴 耐電ズボ 耐電長靴 防毒衣
重量物排除用器具	油圧ジャッキ 油圧スプレッダ 可搬ウインチ ワイヤーロープ マンホール救助器具 救助用簡易起重機 マット型空気ジャッキ 大型油圧スプレッダ 救助用支柱器具	水難救助用器具	潜水器具一式 救命胴衣 水中投光器 救命浮環 救命ボート 救命浮標 救命浮筒 救命浮標ト 救命浮筒機
切断用器具	油圧切断機 エンジンカッタ ガス溶断器 チェーンソー 鉄線カッタ 空気鋸 大型油圧切断機 空気切断機	測定用器具	可燃性ガス測定器 有毒ガス測定器 酸素濃度測定器 放射線測定器 携帯型生物剤検知装置 携帯型化学剤検知機 化学剤検知紙
破壊用器具	万能マ ンコンクリート破壊器具 携帯用コンクリート破壊器具 ハンマドリル	その他の救助用器具	投光器一式 携帯拡声器 携帯無線機 応急処置用セット その他の携帯用救助工具一式 緩降機 発電機
救助用器具	登山器具一式 バスケット担架		

35 救助概況（前年との比較）

区 分		年 別		比 較 △ 減	
		令和3年	令和2年		
出 動 件 数		259	278	△19	
事 故 種 別	火 災	建 物	3	4	△1
		建 物 以 外	1	0	1
	交 通		20	18	2
	水 難		5	9	△4
	自 然 災 害		0	0	0
	機 械		1	0	1
	建 物		93	91	2
	ガス・酸欠		1	0	1
	破 裂		0	0	0
	そ の 他		135	156	△21
活 動 件 数		153	153	0	
救 助 人 員		145	151	△6	
1ヶ月平均出動件数		21.6	23.2	△1.6	

## 36 署別救助出動状況

(令和3年中)

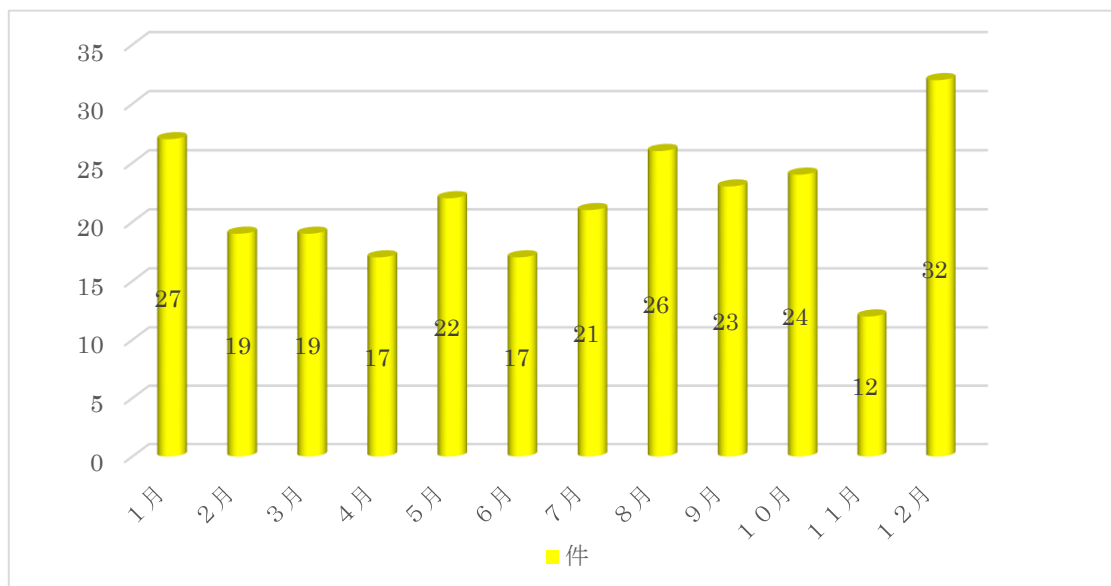
区分	事故種別	計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
			建 物	建 物 以 外								
計	出動件数	259	3	1	20	5	0	1	93	1	0	135
	活動件数	153	3	1	18	4	0	0	93	1	0	33
	救助人員	145	3	1	20	4	0	0	89	1	0	27
	活動台数	231	4	1	36	9	0	0	125	1	0	55
	活動人員	910	17	5	136	29	0	0	506	5	0	212
中央 消 防 署	出動件数	91	1		4	1		1	27			57
	活動件数	41	1		3	1			27			9
	救助人員	38	1		5	1			24			7
	活動台数	62	2		8	1			34			17
	活動人員	239	9		31	3			135			61
南 消 防 署	出動件数	70	1	1	8	1			30			29
	活動件数	49	1	1	8	1			30			8
	救助人員	48	1	1	8	1			30			7
	活動台数	71	1	1	14	3			38			14
	活動人員	285	4	5	54	8			157			57
西 消 防 署	出動件数	66	1		5	1			29	1		29
	活動件数	43	1		5				29	1		7
	救助人員	40	1		5				28	1		5
	活動台数	67	1		9				44	1		12
	活動人員	267	4		35				177	5		46
北 消 防 署	出動件数	23				1			7			15
	活動件数	15				1			7			7
	救助人員	14				1			7			6
	活動台数	21				3			9			9
	活動人員	87				12			37			38
東 消 防 署	出動件数	9			3	1						5
	活動件数	5			2	1						2
	救助人員	5			2	1						2
	活動台数	10			5	2						3
	活動人員	32			16	6						10

### 37 月別救助出動状況

(令和3年中)

区分 月別	出 動 件 数	事 故 種 別										活 動 件 数	救 助 人 員
		火 災		交 通	水 難	自 然 災 害	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他		
		建 物	建 物 以 外										
計	259	3	1	20	5	0	1	93	1	0	135	153	145
1月	27			1	2			15			9	21	21
2月	19	1						8			10	11	11
3月	19		1	2				8	1		7	14	13
4月	17			2				6			9	9	8
5月	22			1				8			13	12	11
6月	17			4				2			11	6	6
7月	21			2	1			6			12	11	10
8月	26			1	1		1	9			14	17	18
9月	23			2				7			14	10	9
10月	24			1				4			19	12	10
11月	12			1	1			4			6	7	7
12月	32	2		3				16			11	23	21

月別救助出動件数



38 発生場所別救助出動状況

(令和3年中)

事故種別		計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
			建 物	建 物 以 外								
発生場所別												
計		259 (153)	3 (3)	1 (1)	20 (18)	5 (4)	0 (0)	1 (0)	93 (93)	1 (1)	0 (0)	135 (33)
屋 内	住 居	161 (104)	3 (3)						87 (87)			71 (14)
	その他の屋内	10 (6)		1 (1)				1 (0)	4 (4)			4 (1)
屋 外	道 路	高速自動車国道	0 (0)									
		一般国道	33 (13)			13 (12)						20 (1)
	内 水 面	8 (7)				5 (4)						3 (3)
	外 水 面	0 (0)										
	山 岳	2 (1)			1 (0)							1 (1)
	その他の屋外	26 (20)			6 (6)				2 (2)	1 (1)		17 (11)
地 下		0 (0)										
そ の 他		19 (2)										19 (2)

※ ( ) 内は活動件数

# 予 防 関 係



「歳末消防フェア」

39 防火対象物一覧

(令和4年4月1日現在)

用途	署所別	合計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署				
			小計	本署	佐保	南部	小計	本署	西大寺	小計	本署	富雄	小計	本署	小計	本署	東部	月ヶ瀬	
計		7,590	3,246	1,835	971	440	2,093	1,347	746	1,272	908	364	557	557	422	219	128	75	
1	イ	14	13	7	6								1	1					
	ロ	201	56	21	16	19	45	32	13	42	27	15	20	20	38	10	17	11	
2	イ	1	1	1															
	ロ	14	8	5	3		4	4		2		2							
	ハ	0																	
	ニ	7	4	3	1		2	2		1	1								
3	イ	3	1	1			1	1							1			1	
	ロ	579	325	225	74	26	106	70	36	65	45	20	47	47	36	11	12	13	
4		304	119	76	23	20	89	73	16	43	30	13	44	44	9	6	1	2	
5	イ	158	129	91	32	6	17	10	7	2	1	1	1	1	9	5	4		
	ロ	2,634	885	457	352	76	985	577	408	536	416	120	217	217	11	11			
6	イ	(1)	9	1	1			8	5	3									
		(2)	6	1	1			1	1		2	1	1	2	2				
		(3)	15	5	3	1	1	4	3	1	4	3	1	2	2				
		(4)	115	35	25	8	2	22	10	12	40	31	9	16	16	2		2	
	ロ	(1)	106	30	11	8	11	26	16	10	31	22	9	12	12	7	4	2	1
		(2)	1								1		1						
		(3)	0																
		(4)	7	1			1	1	1		2		2	2	2	1		1	
		(5)	23	8	3		5	4	3	1	5		5	3	3	3	1	2	
	ハ	(1)	62	17	6	6	5	17	14	3	20	16	4	6	6	2	1		1
		(2)	0																
		(3)	65	19	9	4	6	16	9	7	21	18	3	6	6	3	1	1	1
		(4)	19	3	1	1	1	7	5	2	5	3	2	4	4				
		(5)	118	57	22	11	24	24	15	9	21	10	11	9	9	7	2	5	
	ニ		33	11	7	3	1	10	7	3	11	8	3	1	1				
	7		113	39	18	16	5	20	11	9	33	23	10	13	13	8	4	3	1
	8		16	8	6	2		4	2	2	4	4							
9	イ	1					1	1											
	ロ	6	4	3	1		1	1							1			1	



用途	署所別	合計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署			
			小計	本署	佐保	南部	小計	本署	西大寺	小計	本署	富雄	小計	本署	小計	本署	東部	月ヶ瀬
	10	6	1		1		1	1		2	1	1	2	2				
	11	80	44	19	20	5	18	11	7	8	5	3	4	4	6	4	2	
12	イ	369	137	49	22	66	89	81	8	8	2	6	7	7	128	89	20	19
	ロ	1	1		1													
13	イ	57	45	29	14	2	7	7		4	3	1	1	1				
	ロ	2													2		2	
	14	199	83	26	13	44	55	49	6	6	3	3	10	10	45	30	8	7
	15	629	293	146	96	51	180	135	45	73	51	22	35	35	48	19	22	7
16	イ	1,132	610	421	158	31	209	124	85	214	141	73	65	65	34	16	12	6
	ロ	404	203	114	61	28	109	61	48	62	42	20	24	24	6	2	2	2
	16の2	0																
	16の3	0																
	17	78	46	25	17	4	10	5	5	4	1	3	3	3	15	3	10	2
	18	3	3	3														
	19	0																
	20	0																

40 用途別中高層建築物状況

用途		階数別	計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上
計			3,754	1,558	745	937	207	117	102	60	17	11
1	イ		3	2	1							
	ロ		18	13	1	4						
2	イ		1				1					
	ロ		7	2	2	2	1					
	ハ		0									
3	イ		1	1								
	ロ		38	23	6	4	1	2	2			
4			34	22	8	3	1					
5	イ		67	21	19	7	8	4	6		1	1
	ロ		1,905	644	264	716	82	63	71	48	11	6
6	イ	(1)	9	3	3		1	2				
		(2)	3	2		1						
		(3)	13	2	5	5		1				
		(4)	26	22	3		1					
	ロ	(1)	54	29	17	6	1		1			
		(2)	0									
		(3)	0									
		(4)	1		1							
		(5)	4	3	1							
	ハ	(1)	10	3	4	3						
		(2)	0									
		(3)	13	12	1							
		(4)	1	1								
		(5)	12	10	1	1						
	ニ			3	2	1						
7			198	120	60	10	5	1	1	1		
8			3	3								
9	イ		0									
	ロ		1	1								
10			1	1								
11			20	17	2		1					

(令和4年4月1日現在)

用途		階数別									
		計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階
12	イ	61	49	10	2						
	ロ	1	1								
13	イ	14	10	2	2						
	ロ	0									
14		36	23	10	2	1					
15		301	151	78	36	25	9	1	1		
16	イ	638	251	181	95	56	28	15	6	2	4
	ロ	252	110	63	38	22	7	5	4	3	
16の2		0									
16の3		0									
17		1	1								
18		0									
19		0									
20		0									

#### 41 消防同意処理状況

(令和3年中)

月別 区分	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	取扱件数	261	16	4	12	20	25	23	29	27	32	33	16
確認申請	202	13	4	9	12	21	18	26	24	23	25	9	18
許可申請	42	2	0	0	7	3	2	1	2	8	7	5	5
計画通知	17	1	0	3	1	1	3	2	1	1	1	2	1

#### 42 過去5カ年の建築同意処理件数状況

年別 区分	令和3年	令和2年	令和元年 (平成31年)	平成30年	平成29年
計	261	265	330	425	484
新築	235	254	297	347	440
増築	26	7	24	61	23
その他	0	4	9	17	21

### 43 消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況

(令和3年中)

区 分	月 別												
	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
計	7,928	472	649	741	612	635	730	534	534	720	803	802	696
防火・防災管理者選任届	138	10	12	22	11	10	14	7	3	4	20	15	10
防火・防災管理者解任届	28	1		4	4	1			12	2		2	2
防火・防災管理者選解任届	466	13	26	34	39	59	64	38	38	36	43	39	37
統括防火・防災管理者選任届	5		3					1					1
統括防火・防災管理者解任届	1			1									
統括防火・防災管理者選解任届	7	1			1		1	2			2		
消防計画（防火・防災）作成	420	15	25	33	27	53	43	22	39	31	45	49	38
消防計画（防火・防災）変更届	257	8	16	18	29	25	45	28	23	15	18	16	16
全体についての消防計画（防火・防災）作成届	9		2	1	1			3			1		1
全体についての消防計画（防火・防災）変更届	8	1	2				1	3			1		
工事期間中における消防計画作成届	1		1										
自衛消防組織設置届	1							1					
自衛消防組織変更届	8	1			1			2		1	1		2
自衛消防訓練通知書	2		2										
消防訓練等実施計画通知届	1,774	106	134	169	105	116	157	85	122	179	212	226	163
管理権原者変更届出書	4		1	1				1			1		
管理権原者（防災）変更届出	0												
改善（計画）報告書	24		4	6	1	1	1			1	4	4	2
表示マーク交付（更新）申請	6				2	2	1		1				
見学通知書	5										2	3	
消防法令適合通知書交付申請（興行場）	1										1		
消防法令適合通知書交付申請（公衆浴場）	1				1								
消防法令適合通知書交付申請（旅館）	13	1			2	1	1	1	1	1		5	
禁止行為の解除承認申請届	75	2	2	13	13	7	11	4	6	10	4		3
劇場等の客席特例適用申請書	0												
指定建造物工事等届	0												
指定建造物防災施設設置届	1				1								
核燃料物質等取扱届（新規・変更）	2			1	1								
ヒートポンプ冷暖房機設置届	8			3		1	1	1	1				1
ボイラー設置届	12	1		1	3		3		1			1	2
乾燥設備設置届	13	1	1	1		1	1		1	1	2	1	3
給湯湯沸設備設置届	15		1	1	1	2		1		4	5		
温風暖房機設置届	1												1
炉設置届	7	1		2	1		1			1		1	
厨房設備設置届	0												
サウナ設備背設置	0												
蓄電池設備設置届	23	1	4	4	1	1	3	2		4		3	
発電設備設置届	27	3	1	6	1		3	2		2	1	1	7
変電設備設置届	50	4	3	3	5	2	2	5	3	4	5	3	11

区 分	月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
防火対象物使用開始届		347	24	26	33	21	25	28	31	26	31	33	29	40
防火対象物点検結果報告		276	14	42	23	15	17	26	18	25	28	14	26	28
防火対象物点検報告特例認定申請書		4										2	2	
防災管理点検結果報告		13		1	1			2	2		5			2
防災管理点検報告特例認定申請書		1											1	
消防用設備等設計届		154	15	16	19	11	9	6	15	11	15	9	13	15
消防用設備等設置届		586	53	54	75	43	34	50	38	43	48	54	34	60
消防用設備等着工届		273	17	21	19	29	24	22	21	16	35	17	31	21
消防用設備等点検結果報告届		2,462	158	219	215	211	211	212	169	129	221	274	253	190
消防用設備等特例申請書		18	1	1	4	1	2	2	1	1	2	2	1	
意見書交付申請書		0												
共同防火管理協議事項変更届		0												
地下貯蔵タンク等在庫管理等に関する計画届		0												
完成検査前水張検査（他市設置）		0												
軽微な変更届		50	2	6	6	3	2	1	4	5	7	4	6	4
完成検査申請（設置）		6		2							1		1	2
完成検査申請（変更）		31	2	2	2	1		3	2	1	5	6	2	5
危険物施設廃止届		10	1	2		1		2	1		2		1	
設置許可申請		11		1						5	1	1	1	2
変更許可申請（種類・数量・倍数・位置等）		32	1	1	1	1	4	3		1	7	4	3	6
危険物仮貯蔵・仮取扱申請（仮取扱）届		0												
危険物施設仮使用承認申請		25	1	1	1	1	3	3		1	5	3	2	4
危険物施設関係者住所氏名変更届		100		2	1	13	12	8	13	15	9	1	20	6
危険物施設使用休止・再開届（休止）		0												
危険物職務代行者選任解任届		13	1	1	4	3	1	1	1					1
危険物保安監督者選任解任届		30	1	1	5	3	7	2	4	1		2	2	2
譲渡引渡届		4								1		3		
予防規程認可申請（制定・変更）		3		1	1			1						
危険物取扱者選任解任届		1										1		
危険物品名・数量又は指定数量の倍数変更届		6	3	1	1	1								
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱開始届		14	1		4	2		1	1	1	2	2		
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱廃止届		5		1	1								3	
指定可燃物・貯蔵取扱届出書		5		2	1								2	
指定可燃物・貯蔵取扱 廃止届出書		1		1										
少量危険物・貯蔵取扱届出書		15	4	1			2	1	3	1		1		2
少量危険物・貯蔵取扱廃止届出書		18	2	3		1		3	1			2		6
マイクロリー・貯蔵取扱届出書		0												
マイクロリー・貯蔵取扱廃止届出書		1	1											
危険物施設等災害発生届		0												

44 類別、数量別危険物施設数

(令和4年4月1日現在)

製造所等の別 区分		計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	一 般
施設数		462	7	88	27	15	119	0	46	6	96	1	0	57
数 量 別	5倍以下	218	1	55	8	7	51		43	3	20			30
	5倍をこえ 10倍以下	89	1	18	8	7	32			1	6			16
	10〃 50〃	84	2	10	7	1	34		1	2	17	1		9
	50〃 100〃	22	1	1	4				2		12			2
	100〃 150〃	6	1	2							3			
	150〃 200〃	5	1								4			
	200〃 1000〃	38		2			2				34			
	類 別	単 独	第1類	2		2								
第2類		0												
第3類		0												
第4類		452	6	80	27	15	119		46	6	96	1		56
第5類		0												
第6類		0												
混在		8	1	6										

45 危険物施設数及び各種許認可処理状況

(令和3年中)

区分	計	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所				
			屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	一 般	
施設数 処理状況	462	7	88	27	15	119	0	46	6	96	1	0	57	
計	201	7	25	1	48	27	0	5	2	70	0	0	16	
各 種 許 可 届 出 状 況	設置許可	11	2		1	2		2	1	1			2	
	変更許可	32	2	2			9			15			4	
	完成検査 (設置)	8			1				2	1	3		1	
	完成検査 (変更)	31	2	2			7			17			3	
	仮使用	25	2	1			6			14			2	
	水圧検査	2								2				
	水張検査	45			45									
	品名・数量・ 倍数変更届	6		6										
	譲渡引渡届	1				1								
	廃止届	10		1		1	2		1		3			2
	保安監督者 選解任届	30	1	11	1						15			2



## 46 奈良市所在の指定文化財等

(令和4年3月25日現在)

### 1 指定文化財 970件 【件数】

分類		国指定			県指定	市指定	総数	
有形文化財	建造物 ( ) 内は棟数	国宝 31 (35)	重要文化財 74 (128)	計 ※ 104 (163)	42 (81)	28 (33)	174 (277)	
	美術工芸品	絵画	6	28	34	17	39	90
		彫刻	49	198	247	34	36	317
		工芸品	26	97	123	16	9	148
		書跡典籍 古文書	5	86	91	11	4	106
		考古資料	4	6	10	1	7	18
	歴史資料		5	5	5	5	15	
小計		国宝 121	重要文化財 494	計 ※ 614	小計 126	小計 128	小計 868	
無形文化財		重要無形文化財 1			1		2	
民族文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財 2			2	7	11	
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財 3			10	3	16	
記念物	史跡	特別史跡 2	史跡 25	計 27	5	8	40	
	名勝	特別名勝 2	名勝 6	計 8			8	
	天然記念物	特別天然記念物 1	天然記念物 5	計 6	6	13	25	
	小計	特史名天 5	史名天 36	計 41	小計 11	小計 21	小計 73	
総数		661			150	159	970	

※ 有形文化財（建造物）の国指定の合計件数が国宝及び重要文化財の各件数の和と一致しないのは、1件に国宝・重要文化財の両方を含むものがあるためである。

※ 他に独立行政法人国立文化財機構（住所東京都）が所有し奈良国立博物館及び奈良文化財研究所が保管する国宝14件（絵画4、彫刻1、工芸品3、書籍・典籍3、古文書3）重要文化財118件（絵画44、彫刻16、工芸品17、書跡・典籍18、古文書12、考古資料10、歴史資料1）があります。

### 2 登録有形文化財 116件

建造物	114件 [38箇所]
書跡・典籍	1件
歴史資料	1件

### 3 選定保存技術 3件「国3件 県0件」

### 4 旧村指定文化財 72件「旧月ヶ瀬村指定文化財30件、旧都祁村指定文化財42件」

※国選定保存技術、県指定文化財、市指定文化財と重複している12件を除く。

47 火災予防広報等活動状況

(令和3年中)

区分 月別	防火訓練等		電話パトロール	広報活動	消防庁舎施設見学		防火訪問 ひとり暮らし家庭
	回数	参加人員			回数	参加人員	
計	12	575	230	1196	6	182	6574
1				91			
2			31	87			
3			28	139			
4				100			
5			20	182			
6			105	65			
7				90			
8				71			
9				37			1979
10	3	87		45			2132
11	4	266	46	117	5	140	2463
12	5	222		172	1	42	

## 48 女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状

### (1) 女性防災クラブ

(令和4年4月1日現在)

番号	クラブ名	クラブ員数	結成年月日
1	鶴 舞 地 区	48	S46. 11. 30
2	大 柳 生 地 区	60	S49. 7. 19
3	狭 川 地 区	10	S49. 8. 6
4	精 華 地 区	24	S50. 3. 16
5	鳥 見 地 区	83	H 8. 6. 13
6	朱 雀 地 区	52	H 9. 2. 22
7	左 京 地 区	62	H 9. 11. 18
8	明 治 地 区	74	H10. 3. 28
9	済 美 地 区	54	H10. 8. 21
10	済 美 南 地 区	82	H11. 9. 23
11	鼓 阪 地 区	72	H11. 11. 23
12	飛 鳥 地 区	78	H12. 4. 16
13	椿 井 地 区	69	H12. 4. 26
14	帯 解 地 区	78	H13. 5. 20
15	都 祁 地 区	64	H18. 10. 22
16	東 市	85	H21. 3. 8
17	伏 見 地 区	18	H26. 3. 16
18	平 城 地 区	76	H27. 3. 12
19	青 山 地 区	9	H29. 3. 4
20	奈 良 帝 塚 山 地 区	25	H29. 3. 11
21	富 雄 南 地 区	42	H30. 3. 4
22	西 大 寺 北 地 区	休止中	H31. 2. 22
23	平 城 西 地 区	20	R 2. 3. 18
計		1, 185	



「奈良市女性防災クラブ連合会防火・防災研修会」

(2) 幼年消防クラブ

(令和4年4月1日現在)

名 称		クラブ員数	結成年月日	所 在 地
計		200		
1	佐保山こども園	36	S62. 6. 11	奈良市法蓮町 1368 番地
2	学 園 前 学 園	35	H 4. 6. 19	奈良市中山町西三丁目 535 番地の 200
3	み ず ほ 保 育 園	16	H 5. 6. 30	奈良市北登美ヶ丘六丁目 28 番地の 10
4	あいのそのこども園	18	H10. 10. 2	奈良市法蓮町 986 番地の 73
5	中 登 美 こ ど も 園	42	H10. 10. 2	奈良市中登美ヶ丘一丁目 4162 番地
6	桜 華 保 育 園	24	H22. 11. 9	奈良市二名一丁目 2361 番地の 3
7	佐 保 川 こ ど も 園	29	H22. 11. 9	奈良市法蓮町 393 番地

(3) 奈良市ジュニア防災クラブ

(令和4年4月1日現在)

名 称	クラブ員数	結成年月日
奈良市ジュニア防災クラブ	20	令和元年 11 月 9 日



「幼年消防クラブ結成のつどい」

# 火災統計



「火災調査事例発表会」

## 49 火災概要

令和3年中に発生いたしました火災件数は63件で、前年（66件）より3件減少しました。

- (1) 火災種別ごとに見ますと、建物火災41件、林野火災3件、車両火災5件、その他の火災14件となっており、前年と比較すると建物火災が11件の増加、林野火災が3件の増加、車両火災が12件減少、その他の火災が5件の減少となっています。

出火原因別では、たばこ及び火入れが各7件（各11.1%）と多くなっています。その他の主な出火原因としては、こんろ及び配線器具各6件（各9.5%）、電気機器5件（7.9%）となっています。

- (2) 建物焼損床面積は、955㎡で前年（1,174㎡）に比べ219㎡減少しました。

建物焼損表面積は、178㎡で前年（541㎡）に比べ363㎡減少しました。

林野焼損面積は、1aで前年（0a）より1a増加しました。

- (3) 死傷者の内、死者は0名で前年（3名）より3名減少し、負傷者は13名で前年（11名）より2名増加しました。

- (4) 損害額は、79,181千円で前年（229,851千円）より150,670千円減少しました。

- (5) 出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、1.8で前年（1.9）と比べ0.1ポイント減少となりました。

- (6) 月別火災発生状況は、火災の多い月は4月が10件で最も多く、次いで2月の9件で、少ない月は7月及び9月の各2件でした。

- (7) 建物火災の発生状況については、用途別にみると専用住宅21件、併用住宅2件と住宅からの出火が建物火災全体の56.0%を占めています。

主な出火原因では、こんろ及び配線器具各6件（各14.6%）、電機機器5件（12.1%）となっています。

50 火災概況（前年との比較）

年 別 区 分	令 和 3 年	令 和 2 年	比 較 △減
出火件数	63	66	△3
建 物	41	30	11
林 野	3	0	3
車 両	5	17	△12
そ の 他	14	19	△5
焼損棟数	63	44	19
全 焼	7	11	△4
半 焼	1	2	△1
部 分 焼	18	14	4
ぼ や	37	17	20
建物焼損床面積 (㎡)	955	1,174	△219
建物焼損表面積 (㎡)	227	541	△314
林野焼損面積 (a)	37	0	37
死傷者	13	14	△1
死 者	0	3	△3
負 傷 者	13	11	2
り災世帯数	44	31	13
全 損	6	9	△3
半 損	0	0	0
小 損	38	22	16
り災人員	108	51	57
損害額 (千円)	79,181	229,851	△150,670
建 物	72,899	200,946	△128,047
林 野	0	0	0
車 両	5,188	28,578	△23,390
そ の 他	1,094	327	767
出火率 (件) (人口1万人当たり)	1.8	1.9	△0.1

※ 林野焼損面積 (a) は1a未満は四捨五入にて算出、以下同様

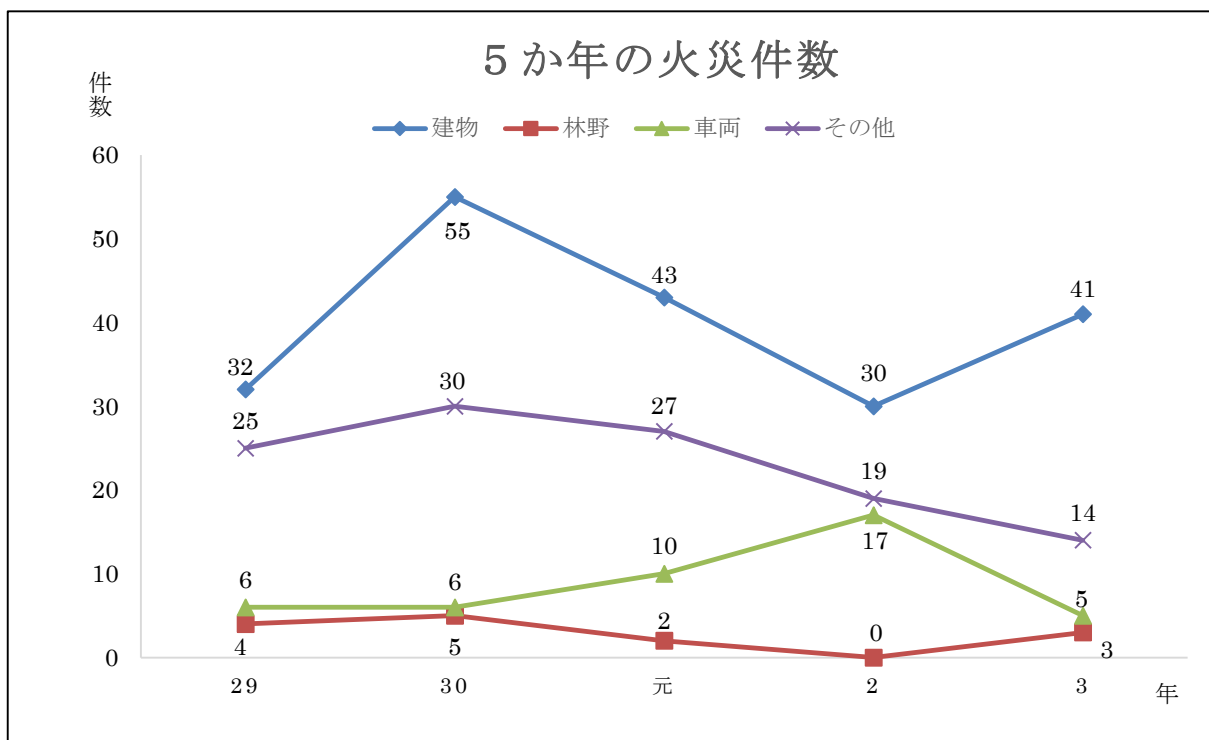
## 51 署別火災概況

(令和3年中)

署別 区分	計	中央署	南署	西署	北署	東署
出火件数	63	23	13	17	5	5
建物	41	15	10	11	3	2
林野	3	1	0	1	0	1
車両	5	1	0	3	1	0
その他	14	6	3	2	1	2
焼損棟数	63	31	13	14	3	2
全焼	7	5	1	0	1	0
半焼	1	0	0	1	0	0
部分焼	18	11	4	2	0	1
ぼや	37	15	8	11	2	1
建物焼損床面積 (㎡)	955	750	77	78	50	0
建物焼損表面積 (㎡)	227	162	46	10	0	9
林野焼損面積 (a)	37	2	0	15	0	20
死傷者	13	2	1	9	1	0
死者	0	0	0	0	0	0
負傷者	13	2	1	9	1	0
り災世帯数	44	19	11	12	2	0
全損	6	3	1	2	0	0
半損	0	0	0	0	0	0
小損	38	16	10	10	2	0
り災人員	108	44	22	35	7	0
損害額 (千円)	79,181	41,380	4,445	32,945	191	220
建物	72,899	41,101	4,395	26,995	188	220
林野	0	0	0	0	0	0
車両	5,188	278	0	4,907	3	0
その他	1,094	1	50	1,043	0	0

## 52 過去5か年の火災状況

区分 年別	出火件数					焼 損 棟 数	焼 り 災 世 帯 数	焼 り 災 人 員	死傷者		焼損面積			損 害 額 (千円)
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他				死 者	負 傷 者	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林 野 (a)	
3	63	41	3	5	14	63	44	108	0	13	955	227	37	79,181
2	66	30	0	17	19	44	31	51	3	11	1,174	541	0	229,851
元	82	43	2	10	27	67	53	113	0	9	1,255	191	13	140,913
30	96	55	5	6	30	80	58	147	2	15	2,124	197	151	245,500
29	67	32	4	6	25	50	38	83	4	9	2,311	211	90	441,747





## 53 校別火災状況

(令和3年中)

区分 校別	出火件数					焼損棟数	り災世帯数	り災人員	焼損面積			死傷者		損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	その他				建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
総計	63	41	3	5	14	63	44	108	955	227	37	0	13	79,181
椿井	1	1				1	1	1						1
飛鳥	1	1				11	4	8	626	132				28,345
鼓阪	0													
済美	3	2			1	2	1	3					1	9
佐保	4	3		1		7	6	18	41	17				5,670
大宮	6	4			2	4	1	1	14	2				1,603
都跡	3	2			1	2	2	3						28
大安寺	1	1				1	1	3		3				243
東市	3	2			1	4	2	2	81	9			1	5,679
平城	2	2				2	1	4	50					188
辰市	3	1			2	4	4	11	60	42				2,985
明治	0													
帯解	2	1			1	1	1	1	1					22
伏見	0													
富雄南	4	2	1	1		4	4	11	42	7	15		5	14,571
富雄北	1	1				1	1	4						138
田原	1		1								20			
興東	1				1									
柳生	1	1				1								
あやめ池	0													
鶴舞	1	1				1			1					47
鳥見	0													
登美ヶ丘	1	1				1	1	3						179
六条	1	1				1			5					151
青和	0													
右京	0													
東登美ヶ丘	1			1										3
二名	2				2									13
西大寺北	2	2				2	1	4	7				1	519
富雄第三	2	2				2	2	2		1			1	213
平城西	2	1		1		2	3	5	23	3			1	17,097
大安寺西	0													
三碓	1	1				1	1	2						28
神功	3	2		1		2	2	8					2	230
朱雀	0													
済美南	1	1				1	1	3					1	
鼓阪北	2	1			1	1	1	2						51
伏見南	1		1								2			
佐保台	1	1				1	1	1	4					394
佐保川	0													
左京	2	2				2	2	8		2				554
月ヶ瀬	1				1									
都祁	2	1			1	1				9				220

注) 平成29年4月1日以降、精華校区は帯解校区に、並松、吐山、六郷校区は都祁校区に統合

## 54 気象別火災状況

### (1) 風速別

(令和3年中)

風速 (m/s) 火災種別	計	0.0 以上 1.0 未満	1.0 以上 2.0 未満	2.0 以上 3.0 未満	3.0 以上 4.0 未満	4.0 以上 5.0 未満	5.0 以上 6.0 未満	6.0 以上
計	63	1	14	15	14	7	6	6
建 物	41		10	10	9	4	4	4
林 野	3	1	1		1			
車 両	5			3	1		1	
そ の 他	14		3	2	3	3	1	2

### (2) 湿度別

(令和3年中)

湿度 (%) 火災種別	計	40 未満	40 以上 50 未満	50 以上 60 未満	60 以上 70 未満	70 以上 80 未満	80 以上 90 未満	90 以上
計	63	13	11	12	6	8	4	9
建 物	41	8	7	6	4	4	4	8
林 野	3		1	1	1			
車 両	5	1	1			3		
そ の 他	14	4	2	5	1	1		1

## 55 覚知方法別火災状況

(令和3年中)

覚知方法別 火災種別	計	火災報知 専用電話	加入電話	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他
計	63	46	3	3	2	9	0
建 物	41	32	1	1		7	
林 野	3	2		1			
車 両	5	4			1		
そ の 他	14	8	2	1	1	2	

## 56 曜日別火災状況

(令和3年中)

曜日別 火災種別	計	日	月	火	水	木	金	土
計	63	12	7	4	13	11	9	7
建 物	41	6	4	3	7	8	8	5
林 野	3	2				1		
車 両	5	1			3	1		
そ の 他	14	3	3	1	3	1	1	2

## 57 覚知時間別火災状況

(令和3年中)

火災種別 覚知時間別	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
計	63	41	3	5	14
0時～1時	0				
1時～2時	2	1			1
2時～3時	1	1			
3時～4時	3	2		1	
4時～5時	0				
5時～6時	0				
6時～7時	1	1			
7時～8時	1	1			
8時～9時	2	1		1	
9時～10時	5	5			
10時～11時	3	1			2
11時～12時	5	1	1	1	2
12時～13時	2	1			1
13時～14時	4	2		1	1
14時～15時	7	4	2	1	
15時～16時	7	4			3
16時～17時	2	2			
17時～18時	7	5			2
18時～19時	6	5			1
19時～20時	1	1			
20時～21時	0				
21時～22時	4	3			1
22時～23時	0				
23時～24時	0				

※ 0時～1時は0時を含め1時は含まない、以下同様

58 月別火災状況

(令和3年中)

区分 月別	出火件数					焼損件数					り災世帯数			り災人員		死傷者		焼損面積				火災別損害額 (千円)			
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	り災人員	死者	負傷者	建物床 (㎡)	建物表 (㎡)	林野 (a)	計	建物	林野	車両	その他
1月	6	5	1			7	1		1	5	6	1		5	16			60	42	2	3,171	3,171			
2月	9	4	2	1	2	4	1		2	1	4	1		3	13	2		73	3	35	19,107	15,437		3,170	500
3月	5	2		1	2	4		1		3	4	1		3	12	4		42	7		11,058	11,037		3	18
4月	10	6		1	3	7			3	4	5			5	7			15	4		1,991	1,959			32
5月	7	5		1	1	6			2	4	5			5	10	2		6	10		3,059	886		1,643	530
6月	4	3			1	3				3	2			2	5	1					12	11			1
7月	2	2				12	3		2	7	5	2		3	13	1		626	132		28,345	28,147		198	
8月	4	3			1	3			1	2	2			2	6	1		132	3		244	244			
9月	2	1		1		1				1	1			1	4						232	138		94	
10月	4	2			2	4	1			3	1			1	1			81			5,503	5,410		80	13
11月	3	3				7	1		4	2	5	1		4	13			46	16		5,803	5,803			
12月	7	5			2	5			3	2	4			4	8	2		6	10		656	656			
計	63	41	3	5	14	63	7	1	18	37	44	6	0	38	108	0	13	955	227	37	79,181	72,899	0	5,188	1,094
昨年計	66	30	0	17	19	44	11	2	14	17	31	9	0	22	51	3	11	1,174	541	0	229,851	200,946	0	28,578	327
比較△減	△3	11	3	△12	△5	19	△4	△1	4	20	13	△3	0	16	57	△3	2	△219	△314	37	△150,670	△128,047	0	△23,390	767

59 用途別・原因別火災状況

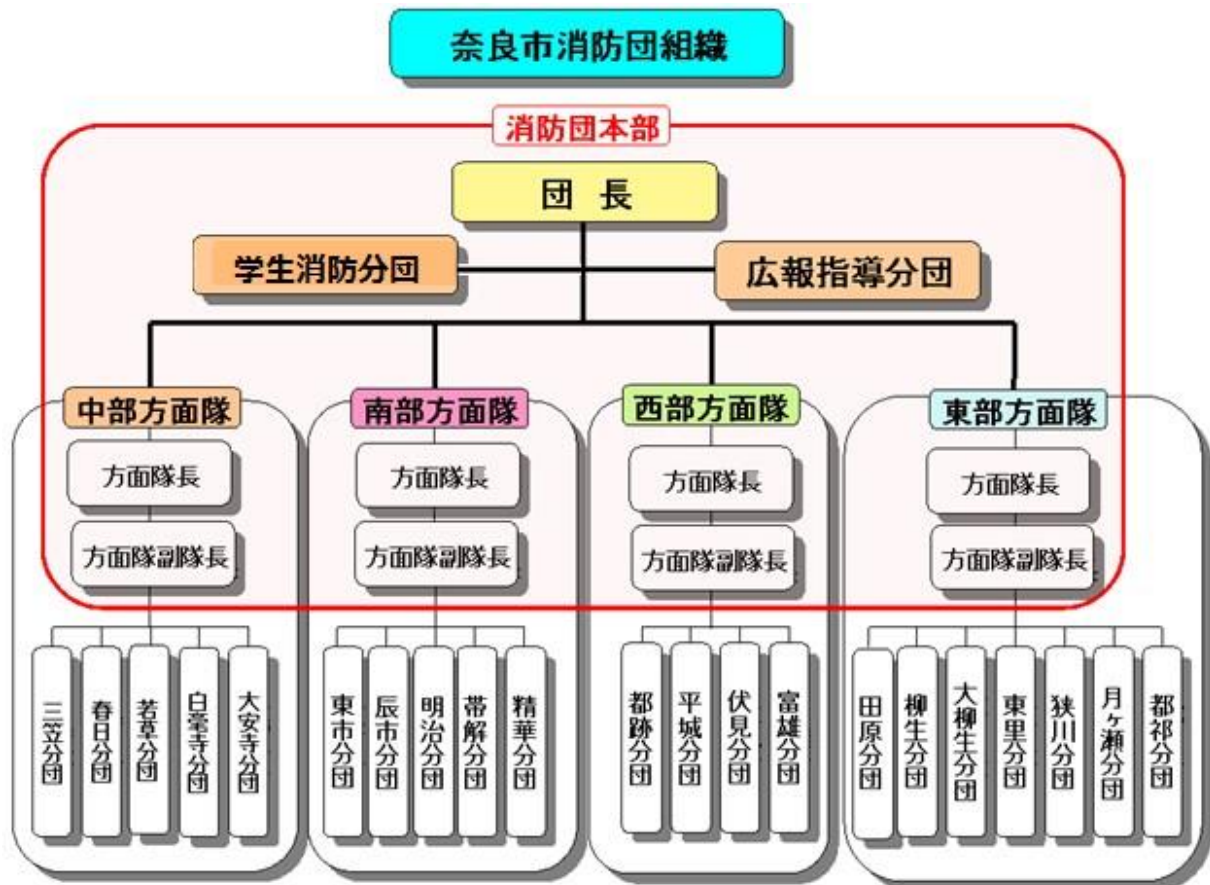
(令和3年中)

火災種別	原因別 用途別	合計	たばこ	こ	か	風	焼	ス	こ	ボ	煙	排	電	電	電	内	配	火	マ	た	溶	灯	衝	取	火	放	放	そ	不			
		計	こ	ろ	ま	呂	却	ト	た	イ	突	気	機	装	電	燃	線	あ	ッ	き	接	火	突	入	れ	火	の	の	明			
合計		63	7	6	0	0	0	0	3	0	0	0	1	5	1	1	0	6	1	1	0	0	2	0	0	7	0	3	9	10		
建	小計	41	3	6	0	0	0	0	3	0	0	0	1	4	1	1	0	5	1	1	0	0	2	0	0	1	0	1	7	4		
	専用住宅	21	2	4					2					1				4	1	1								1	4	1		
	併用住宅	2																					1							1		
	共同住宅	5		1					1					2				1														
	劇場	0																														
	公会堂	0																														
	キャバレー	0																														
	遊戯場	0																														
	料理店	1																													1	
	飲食店	0																														
	物品販売店舗	0																														
	旅館	0																														
	病院	0																														
	社会福祉施設	0																														
	幼稚園	0																														
	学校	0																														
	図書館	0																														
	特殊浴場	0																														
	公衆浴場	0																														
	停車場	0																														
	神社・寺院	0																														
	工場	0																														
	スタジオ	0																														
	物	駐車場	0																													
		航空機格納庫	0																													
		倉庫	0																													
		事務所	0																													
		複合用途特定	1																					1								
		複合用途非特定	1	1																												
		地下街	0																													
		準地下街	0																													
		文化財	0																													
		その他	10		1									1	1	1	1										1			3	1	
林	3																															
車両	5																1										1	2	1			
その他	14	4											1												3	1			5			

# 消 防 団 関 係



「令和4年 奈良市消防出初式」

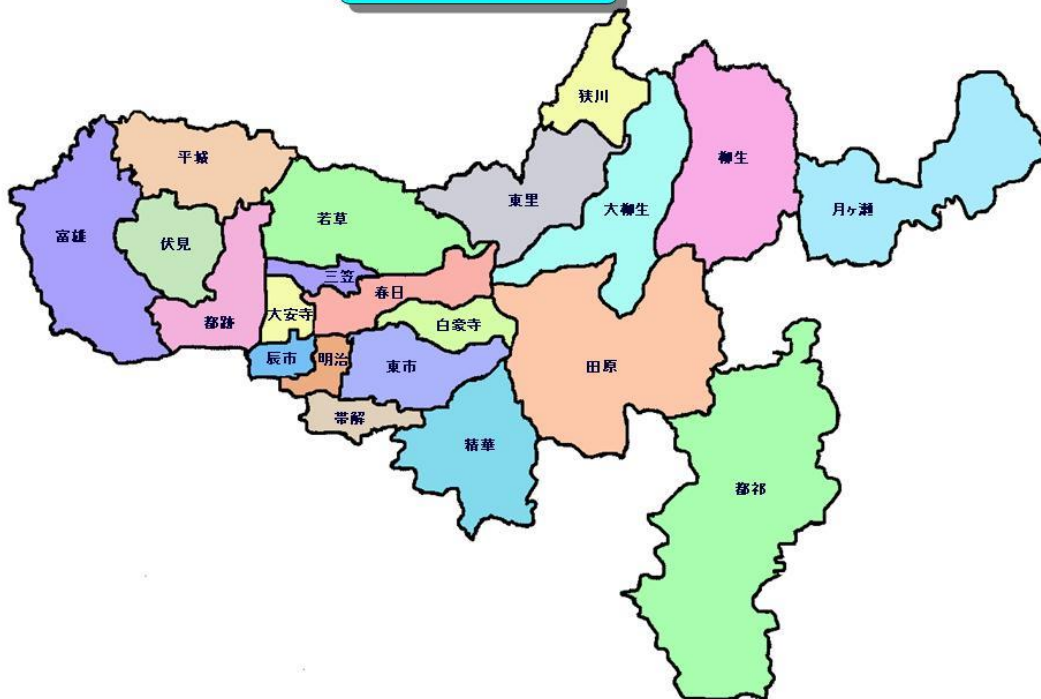


「奈良市消防出初式放水演習」

方面隊別管轄図



分団別管轄図





## 61 消防団員の階級別定員数

## 消防団員の配置編成

(単位 人)

階級別 分団別	団長	方面 隊長	方面隊 副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
	消防団本部	1	4	9					
広報指導分団				1	1	2	2	34	40
学生消防分団								30	30
中部 方面 隊	三笠分団			1	1	2	3	13	20
	春日分団			1	1	2	3	13	20
	若草分団			1	1	2	3	20	27
	白毫寺分団			1	1		1	7	10
	大安寺分団			1	1	2	3	18	25
南部 方面 隊	東市分団			1	1	2	3	23	30
	辰市分団			1	1	2	3	23	30
	明治分団			1	1	2	3	23	30
	帯解分団			1	1	2	3	23	30
	精華分団			1	1	2	3	33	40
西部 方面 隊	都跡分団			1	1	3	5	20	30
	平城分団			1	1	2	3	23	30
	伏見分団			1	1	2	3	23	30
	富雄分団			1	2	5	6	46	60
東部 方面 隊	田原分団			1	2	5	5	88	101
	柳生分団			1	2	6	6	66	81
	大柳生分団			1	2	5	5	54	67
	東里分団			1	1	2	2	36	42
	狭川分団			1	1	2	2	31	37
	月ヶ瀬分団			1	2	5	5	55	68
	都祁分団			1	3	11	11	112	138
計	1	4	9	22	29	68	83	814	1,030

## 62 消防団員の新任状況

(令和4年4月1日現在)

階 級	新 任 団員数	新 任 団 員 数 の う ち								新任団員 数のうち 41歳以上 の再入団 員数
		21歳未満	21歳以上	26歳以上	31歳以上	36歳以上	41歳以上	46歳以上	51歳以上	
			25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下		
団 員	39	1	3	9	10	6	2	6	2	4
班 長										
部 長										
副分団長										
分 団 長										
副 団 長										
団 長										
合 計	39	1	3	9	10	6	2	6	2	4

(学生消防団員を除く)

## 63 消防団員の退職状況

(令和4年3月31日現在)

階 級	退 職 消 防 団 員 数	退 職 消 防 団 員 数 の う ち						
		在 職 年 数						
		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 員	26	6	6	5	5	3	1	
班 長	5			1	2	2		
部 長	15		2	5	5	3		
副分団長	2			1	1			
分 団 長	5					1	4	
副 団 長								
団 長								
合 計	53	6	8	12	13	9	5	

退 職 事 由								
自己都合	定年など	傷 病			死 亡			整理統合
		公 務	そ の 他		公 務	そ の 他		
52	—	—			1		1	—

## 64 在職年数別消防団員数

(令和4年4月1日現在)

在職年数		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団員数	935	197	214	225	172	87	29	11

(学生消防団員を除く)

## 65 消防団員の職業状況

(令和4年4月1日現在)

職 業 構 成																			
農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	電 気 ・ ガ ス 熱 供 給 ・ 業	運 輸 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 業	飲 食 店	金 融	保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公務(他に分類されな いもの)			分 類 不 能 の 産 業	そ の 他
															国家公務員	地方公務員	特殊法人等公務 員に準ずる職員		
46	4		2	131	162	43	51	103	24	11	190	2	60	31	4	92			

(学生消防団員を除く)



「ぼうさいキャラバン2021(水消火器体験)」

66 消防団員の表彰状況

(令和3年中)

表彰別	階級別							合計
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
日本消防協会精績章			2					2
日本消防協会勤続章		1	1					2
県知事表彰			1	3	3	3	1	11
県消防協会長表彰				4	4	4	3	15
奈良市有功者表彰			1	2	2			5
奈良市功労者表彰			2	3	3	4		12
奈良市長表彰					7	8	23	38
合計		1	7	12	19	19	27	85



「若草山焼き行事に伴う警備」

67 消防団員の出動状況

(令和3年中)

計 (人員)	出 動 別				
	水火災出動	警戒出動	訓練出動	機械器具 点検出動	その他 出 動
	238	471	588	854	4,207

## 68 消防団機械器具等配備状況

(令和4年4月1日現在)

区分 分団別	防災 活動車	救助資 器材搭載型 車両	消防 ポンプ 自動車	小型 動力 ポンプ	積載車	機 械 器 具		
						簡易 デジタル 無線機	背負式 消火 水のう	布水槽
計	1	1	1	107	96	209	176	103
消防団本部	1	1		1		13		
中部 方面 隊	三笠			2	1	6		2
	春日			4	2	7		1
	若草			1	1	6		1
	白毫寺			1	1	4		1
	大安寺			2	2	6	4	2
南部 方面 隊	東市			9	9	10		2
	辰市			4	2	6	2	2
	明治			6	6	5		3
	帯解			7	7	7		7
	精華			4	4	6	7	4
西部 方面 隊	都跡			1	1	6		1
	平城			3	3	8	11	4
	伏見			1	1	6		1
	富雄			4	4	12		4
東部 方面 隊	田原		1	15	13	16	36	18
	柳生			6	6	15	21	9
	大柳生			7	6	15	35	6
	東里			8	6	14	18	11
	狭川			3	3	10	8	4
	月ヶ瀬			7	7	13	14	9
	都祁			11	11	18	20	11

69 消防団員の報酬、費用弁償

階 級	職 名	報酬年額 (円)
団 長	団 長	350,000
副 団 長	方 面 隊 長	270,000
分 団 長	方面隊副隊長	160,000
	分 団 長	145,000
副分団長	副 分 団 長	88,000
部 長	部 長	65,000
班 長	班 長	55,000
団 員	団 員	50,000

出 動 種 別	1回あたりの費用弁償額 (円)
水 火 災	4,000
警 戒	3,000
訓 練	2,500
機械器具点検	2,000
そ の 他	2,000

※ 1 回の出動時間が引き続き 4 時間を超えるときは、4 時間に達するごとに 1 回とする



「ぼうさいキャラバン2021放水リレー」

「**住宅用火災警報器**」の設置は消防法の改正により義務化されています。

～ **住警器！ 設置のつぎは 維持・管理** ～



奈良市八条五丁目404番地の1  
奈良市消防局 総務課

TEL 0742-35-1199

FAX 0742-33-8436

E-mail shoubou-soumu@city.nara.lg.jp